

National
Parks
of Japan



参考資料1

2021年以降の 国立公園の利用動向等について

1. 目標・指標 ……P.3
2. 国立公園における訪日外国人利用者数等 ……P.5
3. 国立公園における宿泊者数等 ……P.11
4. 日本全体の観光や地方誘客に対する国立公園の貢献度 ……P.14
5. 利用者アンケート調査の結果 (日本人) ……P.18
6. 利用者アンケート調査の結果 (外国人) ……P.36
7. 日本人調査と訪日外国人調査の結果比較 ……P.56
8. 世論調査の結果 ……P.59
9. 国立公園に関する特徴的な動向 ……P.66

1. 目標・指標

1.1 目標・指標

- ・2021年以降の取組方針において、最終年である2025年の目標を設定
 - **自然を満喫できる上質なツーリズムの実現とブランド化。そのための質の目標・指標を設定し、体積で考える**
 - **新型コロナウイルスによる影響前の国内外の利用者の復活**

目標・指標

概要

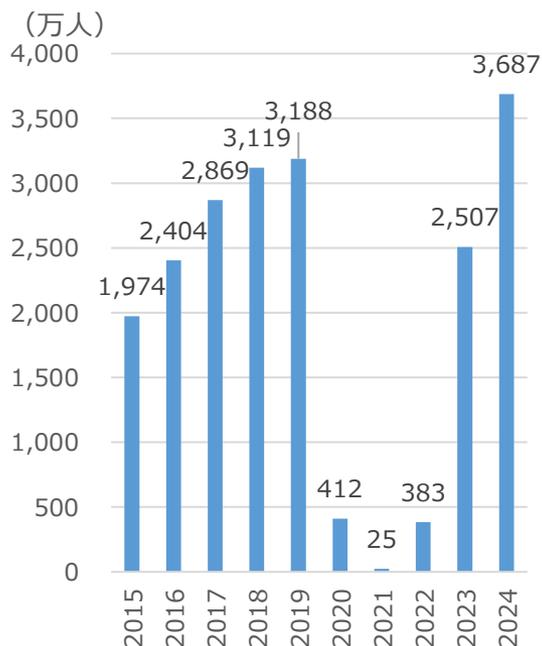
量	国立公園における 訪日外国人利用者 (訪日)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに推計 ■ 国立公園全体の訪日外国人実利用者数、および主要な公園内における訪日外国人利用者数を算出したもの 【目標】2025年までにコロナ前（2019年）同等値
	国立公園における 宿泊者数 (訪日・国内)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに推計 ■ 国立公園全体および各公園内における延べ宿泊者数の推移を経年的に算出したもの 【目標】2025年までにコロナ前（2019年）同等値
質	日本全体の観光や 地方誘客に対する 国立公園の貢献度 (訪日)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに分析 ■ 全訪日外国人と国立公園を訪問した訪日外国人の消費額や満足度を比較し、観光・地方誘客における国立公園の貢献度を調査したもの 【目標】定量的な目標値は設定していないが、貢献度を把握することで、インバウンド全体に対する国立公園の貢献を評価
	満足度 推奨意向 支出額 平均泊数 認知度 リピーター率 (訪日・国内)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 直近1年間で対象14公園を訪問した日本人（5000名）および訪日外国人（500名）を対象にWebモニターアンケートを実施 ■ 各種質の指標等を把握。各調査結果の関係性等も把握（体積で考える） ■ 令和6年に「国立公園の利用に係る世論調査」が実施されたことから、関連性が高い設問については複合分析を実施 【目標】定量的な目標値は設定していないが、質の指標データを踏まえて、上質なツーリズムの実現とブランド化の進捗を評価

2. 国立公園における訪日外国人利用者数等

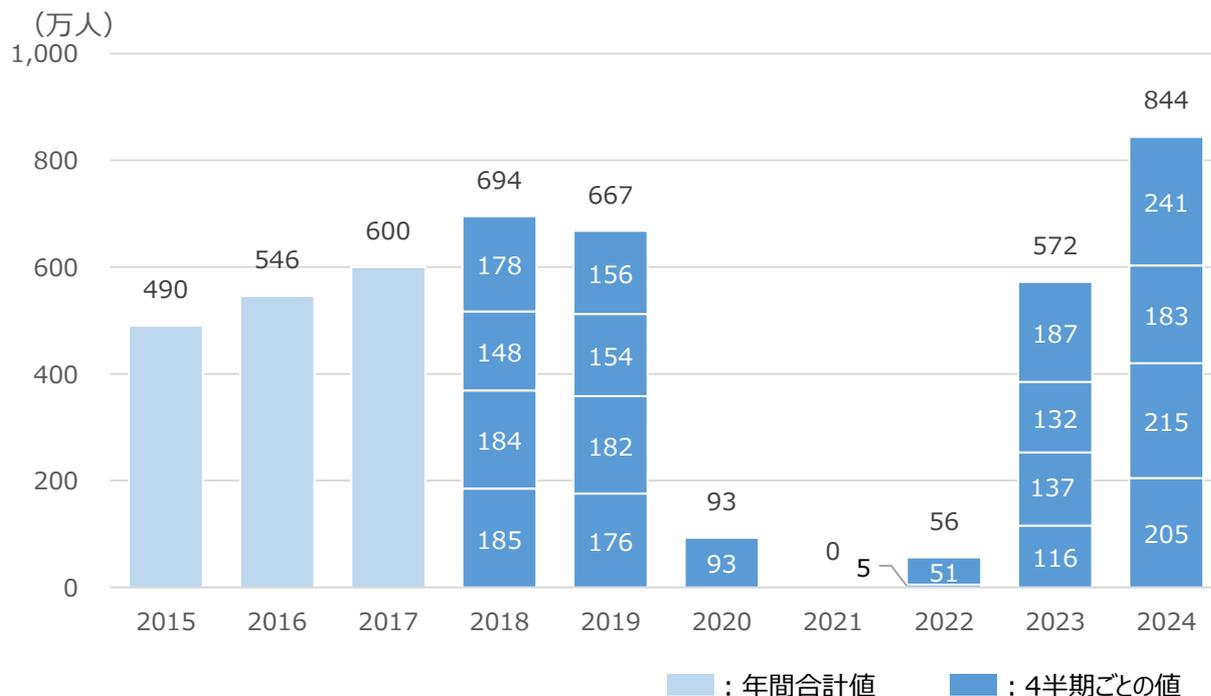
2.1 訪日外国人客数

- 2024年訪日外客数は**3,687万人**となり、**2019年の1.16倍、前年の1.47倍**となった
- 2024年の**国立公園の訪日外国人実利用者数**は**844万人**となり、**2019年の1.27倍、前年の1.47倍**となった

全国の訪日外客数



国立公園の訪日外国人実利用者数



※インバウンド消費動向調査 確定値：～2024年1-3月期、2次速報値：4-9月期、1次速報値：10-12月期
2024年4月以降は、確定値による推計後、値が変動する可能性があります

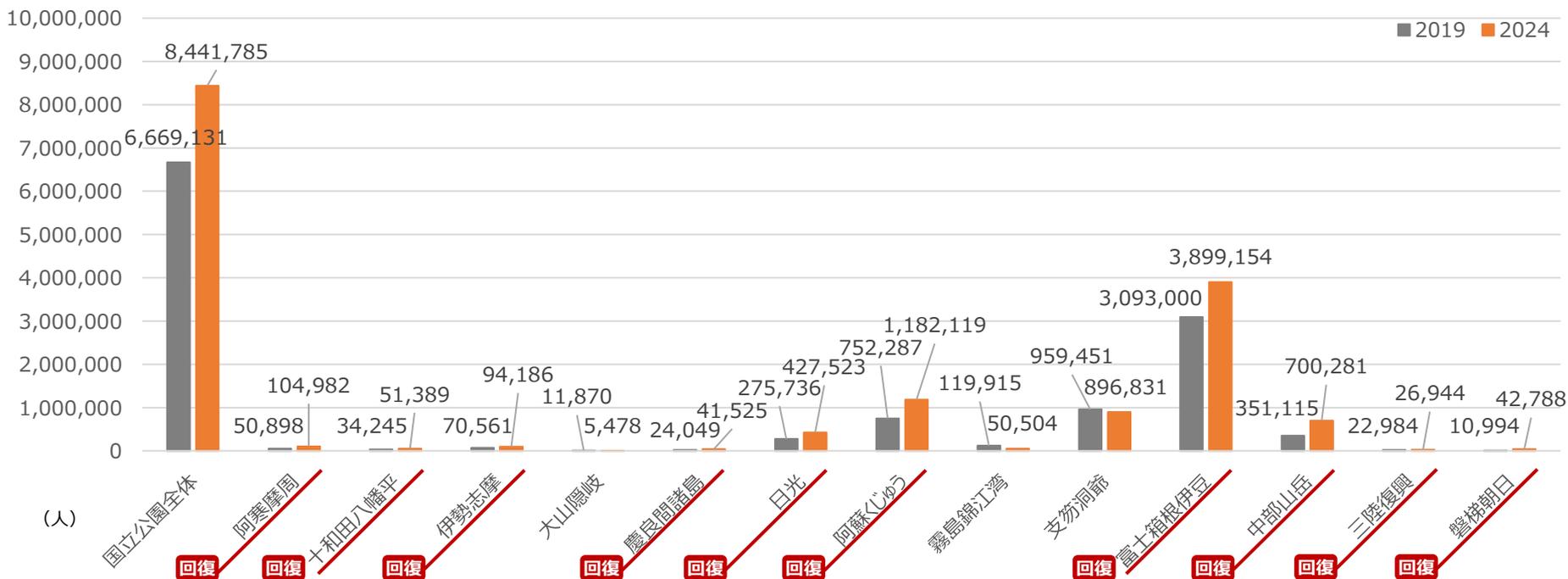
2.2 国立公園における訪日外国人利用者数

- 2024年における国立公園全体の訪日外国人の実利用者数は約844万人と、2019年の1.27倍の水準となった
- ステップアッププログラム策定13公園については、大山隠岐、霧島錦江湾、支笏洞爺の3公園を除き、**2019年の値を上回り回復**している

【2024年・2019年比較】

国立公園全体の
訪日外国人の実利用者数

国立公園単位での訪日外国人の利用者数
- ステップアッププログラム策定13公園 -



※インバウンド消費動向調査 確定値：～2024年1-3月期、2次速報値：4-9月期、1次速報値：10-12月期
2024年4月以降は、確定値による推計後、値が変動する可能性があります

2.2 国立公園における訪日外国人利用者数の推移

【2015年～2024年】

国立公園	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和4年(2022) 下半期	令和5年(2023)	令和6年(2024)
1 利尻礼文サロベツ	4,961	13,536	9,847	13,343	9,111	900	16,041	19,557
2 知床	20,837	28,496	20,371	37,553	13,648	993	18,005	27,446
3 阿寒摩周	63,008	57,565	56,626	57,970	50,898	4,618	35,967	104,982
4 釧路湿原	34,233	26,634	38,909	42,052	34,471	3,816	40,868	62,089
5 大雪山	63,504	83,179	60,457	80,112	83,205	3,948	42,716	86,097
6 支笏洞爺	687,632	826,717	901,420	1,067,505	959,451	53,734	623,774	896,831
7 十和田八幡平	6,946	21,722	18,830	29,331	34,245	7,627	48,254	51,389
8 三陸復興	9,923	16,355	15,286	13,029	22,984	3,724	34,658	26,944
9 磐梯朝日	496	3,877	9,473	5,999	10,994	3,550	27,500	42,788
10 日光	190,017	240,670	271,309	304,293	275,736	62,332	331,234	427,523
11 尾瀬	-	2,123	-	-	552	2,004	490	17,611
12 上信越高原	214,327	265,476	322,500	340,725	354,144	57,452	423,637	546,961
13 妙高戸隠連山	8,434	5,702	13,000	14,224	16,828	1,366	18,302	25,285
14 秩父多摩甲斐	18,853	22,066	9,973	11,211	12,071	3,343	16,746	14,125
15 小笠原原	-	338	-	1,796	2,492	227	-	-
16 富士箱根伊豆	2,340,726	2,577,290	2,580,288	2,991,192	3,093,000	270,352	2,445,299	3,899,154
17 中部山岳	338,358	350,680	381,500	375,948	351,115	50,754	439,445	700,281
18 白山	2,977	1,370	1,531	3,787	7,571	313	-	4,660
19 南アルプス	-	686	2,180	677	182	119	4,130	3,818
20 伊勢志摩	33,240	60,927	75,730	48,796	70,561	10,303	60,190	94,186
21 吉野熊野	53,086	59,054	66,586	62,638	64,310	5,987	149,295	225,844
22 山陰海岸	32,248	50,213	43,473	41,076	45,619	3,611	61,730	80,026
23 瀬戸内海	296,188	309,803	386,554	676,395	671,300	32,722	506,948	738,697
24 大山隠岐	5,954	13,904	10,951	4,706	11,870	654	6,932	5,478
25 足摺宇和海	496	4,794	4,858	684	3,127	498	843	1,306
26 西海	54,574	73,765	55,708	45,203	65,412	6,291	64,113	61,483
27 雲仙天草	28,279	29,076	25,173	22,554	14,736	3,174	32,945	30,571
28 阿蘇くじゅう	681,678	675,156	925,869	1,034,244	752,287	39,026	902,006	1,182,119
29 霧島錦江湾	70,946	78,670	128,556	142,349	119,915	4,382	28,128	50,504
30 屋久島	9,923	16,578	25,107	17,140	22,006	1,751	15,795	17,180
31 奄美群島	-	-	5,824	1,573	2,498	1,198	2,314	3,178
32 やんばる	-	-	-	21,744	15,040	227	14,941	40,800
33 慶良間諸島	-	-	-	27,486	24,049	-	10,873	41,525
34 西表石垣	11,907	13,856	13,788	31,650	12,298	2,229	20,245	28,996
合計 (各公園計)	5,283,749	5,930,278	6,481,677	7,568,987	7,227,724	643,225	6,444,363	9,559,437
(実利用者数)	4,902,228	5,456,790	6,000,820	6,940,090	6,669,131	564,122	5,723,029	8,441,785

※背景のデータバーは、各年・各公園の増減を表現しています。

※【各公園計】公園別の訪日外国人数（国立公園に複数訪問している外国人は、各々にカウント）【実利用者数】国立公園を訪問した訪日外国人数

2.2 国立公園における訪日外国人利用者数の推移

【2024年】

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計
1 利尻礼文サロベツ	2,932	2,512	9,865	4,247	19,557
2 知床	3,530	3,056	10,814	10,046	27,446
3 阿寒摩周	31,353	8,413	33,357	31,858	104,982
4 釧路湿原	19,162	9,853	19,667	13,408	62,089
5 大雪山	26,766	9,558	19,229	30,544	86,097
6 支笏洞爺	388,033	123,235	192,036	193,527	896,831
7 十和田八幡平	8,056	4,323	12,008	27,002	51,389
8 三陸復興	1,584	9,402	8,777	7,181	26,944
9 磐梯朝日	11,592	8,520	5,885	16,791	42,788
10 日光	55,531	94,545	52,008	225,439	427,523
11 尾瀬	2,705	12,610	470	1,826	17,611
12 上信越高原	234,501	125,567	66,108	120,785	546,961
13 妙高戸隠連山	18,314	1,054	1,467	4,450	25,285
14 秩父多摩甲斐	5,568	2,553	3,136	2,868	14,125
15 小笠原	-	-	-	-	-
16 富士箱根伊豆	709,796	1,143,907	874,756	1,170,696	3,899,154
17 中部山岳	179,707	177,406	109,999	233,170	700,281

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計
18 白山	2,329	-	-	2,332	4,660
19 南アルプス	-	-	2,925	893	3,818
20 伊勢志摩	13,264	22,411	32,865	25,646	94,186
21 吉野熊野	28,899	63,684	65,135	68,125	225,844
22 山陰海岸	21,978	21,186	15,318	21,544	80,026
23 瀬戸内海	125,385	184,350	192,444	236,518	738,697
24 大山隠岐	2,518	-	977	1,983	5,478
25 足摺宇和海	-	-	1,306	-	1,306
26 西海	12,992	24,665	16,335	7,491	61,483
27 雲仙天草	4,526	10,510	6,441	9,095	30,571
28 阿蘇くじゅう	357,145	296,434	230,162	298,377	1,182,119
29 霧島錦江湾	14,845	16,567	8,785	10,307	50,504
30 屋久島	1,889	8,574	2,908	3,810	17,180
31 奄美群島	-	1,216	1,962	-	3,178
32 やんばる	9,366	6,309	14,622	10,503	40,800
33 慶良間諸島	3,380	5,055	19,193	13,897	41,525
34 西表石垣	2,890	8,787	9,059	8,260	28,996

※インバウンド消費動向調査 確定値：～2024年1-3月期
 2次速報値：4-9月期、1次速報値：10-12月期
 2024年4月以降は、確定値による推計後、値が変動する可能性あり
 ※【各公園計】公園別の訪日外国人数
 （国立公園に複数訪問している外国人は、各々にカウント）
 ※【実利用者数】国立公園を訪問した訪日外国人数

合計	（各公園計）	2,300,538	2,406,262	2,040,019	2,812,618	9,559,437
	（実利用者数）	2,045,158	2,153,931	1,830,514	2,412,182	8,441,785
SUP策定 13公園計	（各公園計）	1,776,805	1,910,218	1,580,808	2,255,874	7,523,705
	（実利用者数）	1,688,196	1,837,578	1,516,716	2,069,232	7,111,722

2.2 国立公園における訪日外国人利用者数の推移

【2023年】

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計
1 利尻礼文サロベツ	2,017	4,356	4,169	5,498	16,041
2 知床	1,812	4,715	10,175	1,304	18,005
3 阿寒摩周	13,130	5,301	9,873	7,664	35,967
4 釧路湿原	8,907	3,906	10,887	17,168	40,868
5 大雪山	7,411	3,432	10,058	21,815	42,716
6 支笏洞爺	205,483	85,554	157,118	175,619	623,774
7 十和田八幡平	4,952	7,899	5,874	29,530	48,254
8 三陸復興	1,392	5,215	8,155	19,897	34,658
9 磐梯朝日	4,303	5,491	4,125	13,581	27,500
10 日光	41,559	83,607	60,995	145,074	331,234
11 尾瀬	258	-	231	-	490
12 上信越高原	171,607	79,650	65,984	106,397	423,637
13 妙高戸隠連山	12,447	1,419	3,688	748	18,302
14 秩父多摩甲斐	1,488	4,266	2,277	8,715	16,746
15 小笠原	-	-	-	-	-
16 富士箱根伊豆	378,738	660,196	578,840	827,524	2,445,299
17 中部山岳	97,852	116,978	66,647	157,968	439,445

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計
18 白山	-	-	-	-	-
19 南アルプス	709	748	1,141	1,533	4,130
20 伊勢志摩	9,109	17,017	14,504	19,560	60,190
21 吉野熊野	10,495	41,419	54,847	42,535	149,295
22 山陰海岸	6,103	10,712	19,046	25,870	61,730
23 瀬戸内海	70,510	149,091	135,164	152,184	506,948
24 大山隠岐	1,530	4,206	246	950	6,932
25 足摺宇和海	312	-	531	-	843
26 西海	9,729	15,153	23,577	15,654	64,113
27 雲仙天草	3,576	8,531	2,868	17,970	32,945
28 阿蘇くじゅう	202,231	210,587	190,356	298,831	902,006
29 霧島錦江湾	3,389	9,657	3,266	11,816	28,128
30 屋久島	2,930	4,763	3,492	4,610	15,795
31 奄美群島	117	-	1,712	485	2,314
32 やんばる	3,876	3,462	5,068	2,534	14,941
33 慶良間諸島	371	1,896	6,592	2,014	10,873
34 西表石垣	3,367	3,940	7,040	5,898	20,245

合計	(各公園計)	1,281,708	1,553,166	1,468,543	2,140,946	6,444,363
	(実利用者数)	1,161,428	1,367,686	1,324,007	1,869,908	5,723,029
SUP策定 13公園計	(各公園計)	964,037	1,213,604	1,106,589	1,710,029	4,994,260
	(実利用者数)	928,557	1,137,526	1,066,871	1,593,098	4,726,052

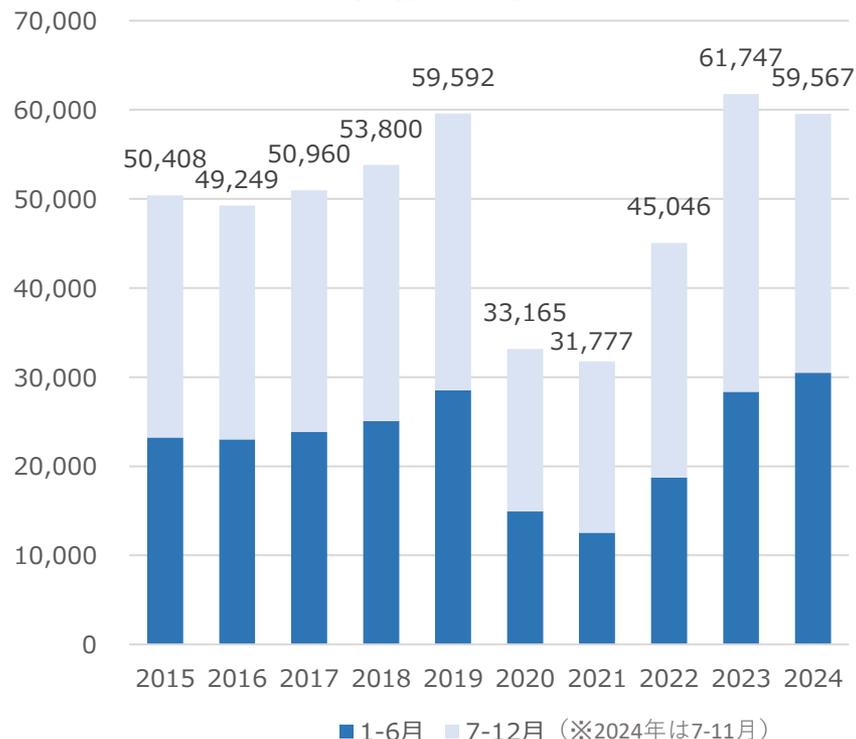
※【各公園計】公園別の訪日外国人数
 (国立公園に複数訪問している外国人は、各々にカウント)
 ※【実利用者数】国立公園を訪問した訪日外国人数

3. 国立公園における宿泊者数等

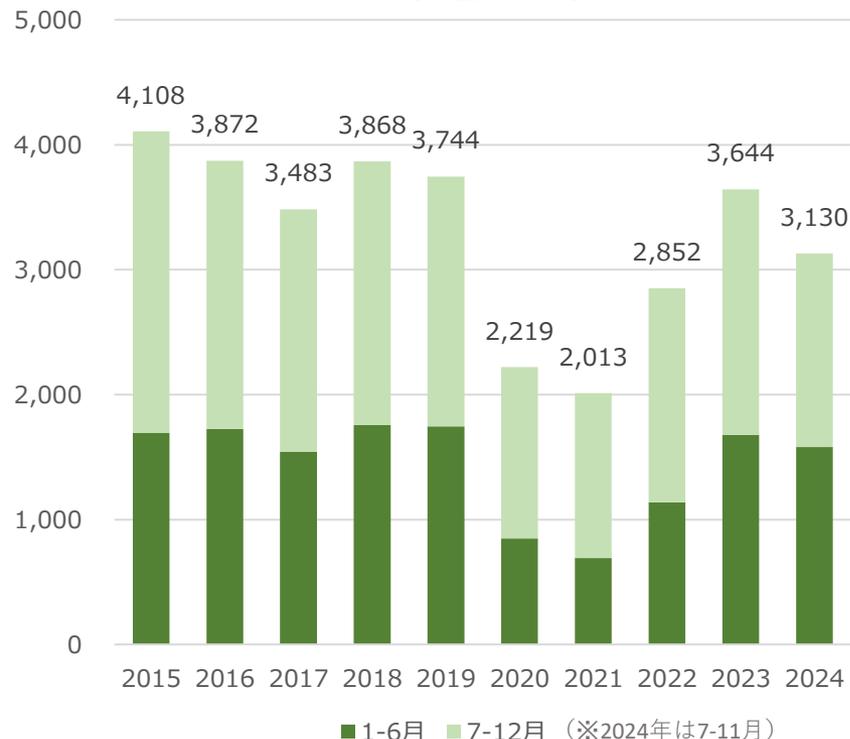
2.1 国立公園における宿泊者数（～2024年11月）

- 2024年の国立公園内宿泊者数（上半期1,581万人）は2019年の約90%まで回復

全国の延べ宿泊者数
(単位：万人)



国立公園区域内の延べ宿泊者数
(単位：万人)



※2024年12月については推計作業中。

※国立公園内の宿泊者数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の調査票情報を利用して推計

※2017年～2023年は、「宿泊旅行統計調査」の結果の確定値、2024年は同調査結果の速報値を使用

2.2 国立公園における宿泊者数

- 2024年1-11月の宿泊者数（日本人及び外国人）は、多くの公園で2019年・2023年の水準までの回復には至っていない（対象年比8%以上減少している）
- 一方で北部および南部に位置する国立公園については、回復傾向が確認できる

2019年、2023年および2024年における各国立公園区域内の延べ宿泊者数

公園名	2019年 (確定値)	2023年 (確定値)	2024年 1-11月 (速報値)	2023年比 増減	2019年比 増減
1 利尻礼文サロベツ	-	-	360	-	-
2 知床	12,361	16,342	14,618	▲10.5%	18.3%
3 阿寒摩周	828,568	545,351	443,817	▲18.6%	▲46.4%
4 釧路湿原	966	-	2,504	-	159.2%
5 大雪山	775,527	573,836	499,522	▲13.0%	▲35.6%
6 支笏洞爺	3,631,085	3,061,625	2,662,529	▲13.0%	▲26.7%
7 十和田八幡平	556,324	549,460	502,986	▲8.5%	▲9.6%
8 三陸復興	123,375	142,052	129,388	▲8.9%	4.9%
9 磐梯朝日	861,876	859,256	841,905	▲2.0%	▲2.3%
10 日光	4,682,377	5,108,695	4,469,578	▲12.5%	▲4.5%
11 尾瀬	-	-	12,265	-	-
12 上信越高原	3,005,606	3,062,910	2,045,841	▲33.2%	▲31.9%
13 妙高戸隠連山	375,971	334,988	262,640	▲21.6%	▲30.1%
14 秩父多摩甲斐	146,480	168,444	143,813	▲14.6%	▲1.8%
15 小笠原	-	-	-	-	-
16 富士箱根伊豆	11,370,294	11,884,390	10,402,550	▲12.5%	▲8.5%
17 中部山岳	1,033,422	872,289	801,747	▲8.1%	▲22.4%

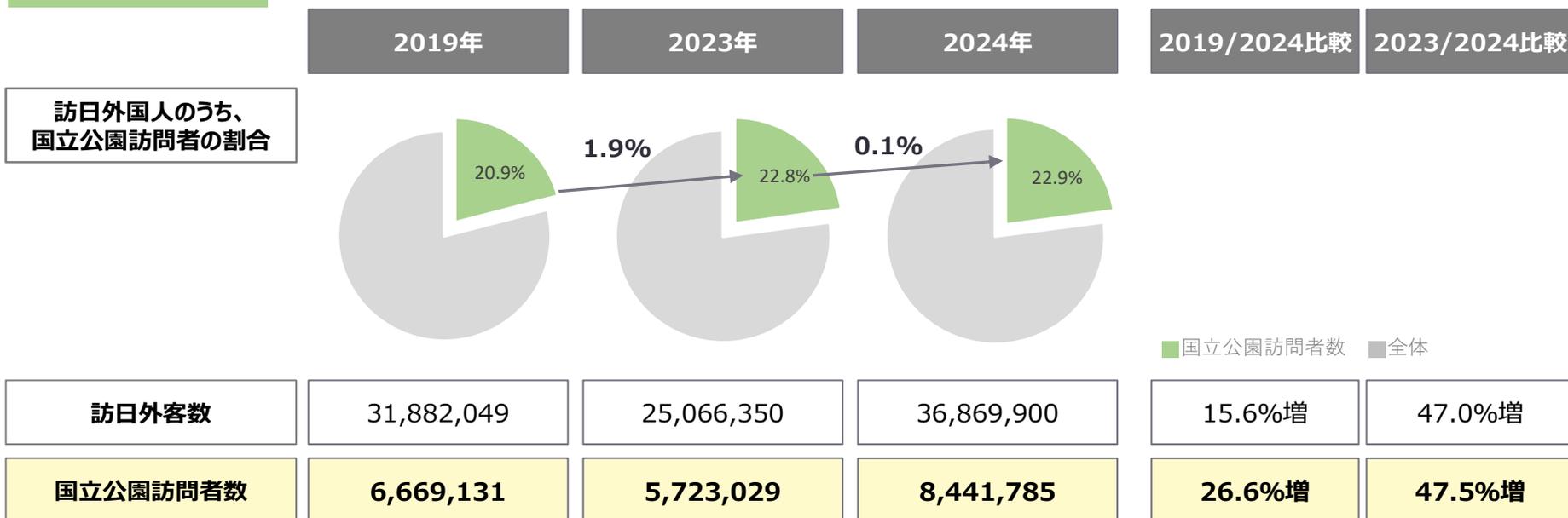
公園名	2019年 (確定値)	2023年 (確定値)	2024年 1-11月 (速報値)	2023年比 増減	2019年比 増減
18 白山	26,032	14,588	5,079	▲65.2%	▲80.5%
19 南アルプス	21,845	35,584	7,575	▲78.7%	▲65.3%
20 伊勢志摩	2,966,325	2,737,333	2,484,711	▲9.2%	▲16.2%
21 吉野熊野	686,928	491,405	392,145	▲20.2%	▲42.9%
22 山陰海岸	855,922	723,963	589,022	▲18.6%	▲31.2%
23 瀬戸内海	1,618,006	1,634,519	1,483,701	▲9.2%	▲8.3%
24 大山隠岐	334,875	248,515	103,780	▲58.2%	▲69.0%
25 足摺宇和海	152,214	120,818	105,193	▲12.9%	▲30.9%
26 西海	65,268	73,530	60,005	▲18.4%	▲8.1%
27 雲仙天草	460,911	393,690	314,714	▲20.1%	▲31.7%
28 阿蘇くじゅう	1,248,665	1,469,353	1,347,200	▲8.3%	7.9%
29 霧島錦江湾	691,811	496,188	393,178	▲20.8%	▲43.2%
30 屋久島	1,034	-	-	-	▲100.0%
31 奄美群島	14,616	21,675	24,967	15.2%	70.8%
32 やんばる	72,610	127,585	153,372	20.2%	111.2%
33 慶良間諸島	315,730	123,717	118,538	▲4.2%	▲62.5%
34 西表石垣	505,801	546,458	484,430	▲11.4%	▲4.2%

4. 日本全体の観光や地方誘客に対する 国立公園の貢献度

4.1 国立公園による地方への誘客効果

- 2024年は、訪日外国人のうち、**全体の22.9%程度の訪日外国人が国立公園を訪れており、コロナ禍前と比較して2.0%割合が増加している**
- また、**国立公園訪問者数は、前年に比べて47.5%増加している**

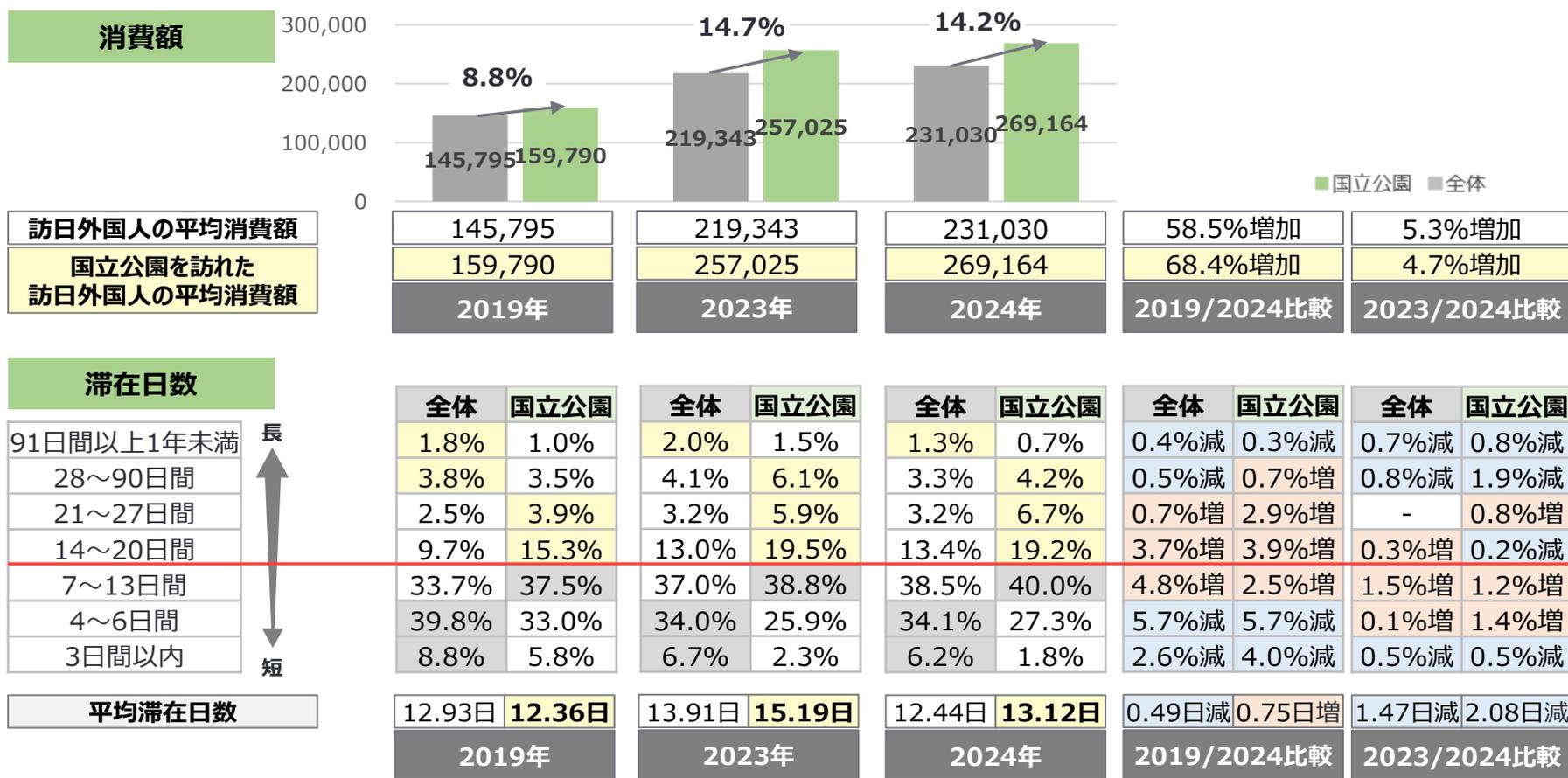
地方への誘客効果



※インバウンド消費動向調査 確定値：～2024年1-3月期、2次速報値：4-9月期、1次速報値：10-12月期
2024年4月以降は、確定値による推計後、値が変動する可能性があります

4.2 国立公園による消費額・滞在日数への貢献

- 2024年の訪日外国人の平均消費額は、全訪日外国人の平均消費額より**国立公園を訪れた訪日外国人の平均消費額の方が、14.2%程度多い**
- 全訪日外国人の滞在日数より**国立公園を訪れた訪日外国人の滞在日数の方が、長くなる傾向**があり、平均滞在日数に関しても、国立公園を訪れた訪日外国人の方が長くなっている



資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」より推計

4.3 国立公園による満足度・再訪意向の醸成への貢献

- 全訪日外国人と同等に、国立公園を訪れた訪日外国人においても、日本への訪問時の満足度・再訪意向が高い
- 2024年の結果は、前年度とほぼ同等の値

満足度	2019年		2023年		2024年		2019/2024比較		2023/2024比較	
	全体	国立公園	全体	国立公園	全体	国立公園	全体	国立公園	全体	国立公園
大変満足	63.5%	60.2%	74.1%	77.7%	73.9%	76.7%	10.4%増	16.5%増	0.2%減	1.0%減
満足	32.4%	35.1%	23.1%	20.2%	23.5%	21.1%	8.9%減	13.9%減	0.4%増	1.0%増
やや満足	2.5%	3.1%	1.8%	1.4%	1.8%	1.5%	0.8%減	1.6%減	0.1%減	0.2%増
普通	1.3%	1.3%	0.6%	0.5%	0.7%	0.5%	0.7%減	0.8%減	-	-
やや不満	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%減	0.2%減	0.1%減	-
不満	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
大変不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	-	-	0.1%減

再訪意向の醸成	2019年		2023年		2024年		2019/2024比較		2023/2024比較	
	全体	国立公園	全体	国立公園	全体	国立公園	全体	国立公園	全体	国立公園
必ず来たい	66.2%	62.7%	77.1%	78.5%	77.1%	77.9%	10.9%増	15.2%増	0.1%減	0.5%減
来たい	28.0%	30.0%	19.7%	17.8%	19.5%	18.3%	8.5%減	11.7%減	0.2%減	0.4%増
やや来たい	3.6%	4.8%	2.0%	2.4%	2.4%	2.6%	1.3%減	2.2%減	0.3%増	0.2%増
何ともいえない	1.7%	2.0%	0.9%	1.1%	0.9%	0.9%	0.9%減	1.1%減	-	0.2%減
あまり来たくない	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%減	-	-	0.1%増
来たくない	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%減	0.1%減	-	-
絶対来たくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-

5. 利用者アンケート調査の結果 (日本人Webアンケート)

5.1 日本人Webアンケート調査の概要

調査概要

- 国立公園満喫プロジェクトの成果指標については、訪日外国人利用者数及び国内利用者数（延べ宿泊者数）に加え、自然を満喫できる質の高いツーリズムの実現に向けた「質」の指標（一人あたり消費額、リピーター率、認知度、満足度等）も定めることとしている
- 2022年以降の調査では、日本人の国立公園訪問者を対象としたWebアンケートパネル調査により質の指標の算出を行い、一定程度、安定的にデータの回収・分析が可能であることが確認された
- 2024年の調査においては、前年度の成果を踏まえて一部設問設計の改善を図りつつ、継続的な調査を実施した

アンケート調査の仕様

	2018	2019	2020-2021	2022	2023	2024
調査方法	現地型アンケート調査 (紙面回答方式+Web回答方式)		調査非実施 期間	Webモニター型アンケート調査		
対象公園	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 		計12公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 磐梯朝日※(新規追加) 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計13公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興(新規追加) 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計14公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 やんばる(新規追加)
回答者数	約7,200 票 (各公園 約200票以上)			約5,200 票 (各公園 約360~400票)		

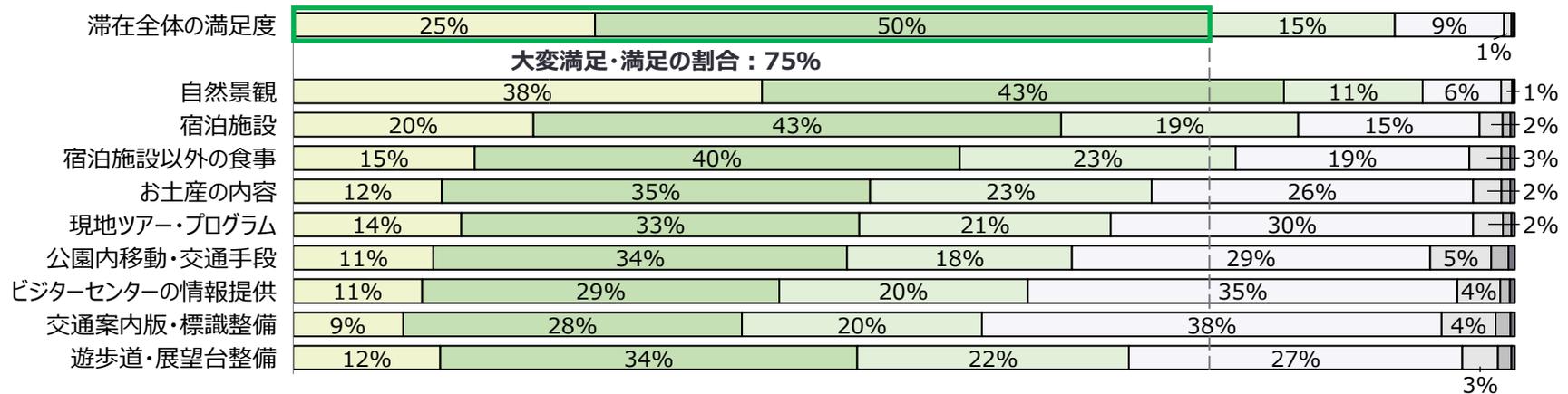
※ 支笏洞爺国立公園：支笏湖・定山溪地域のみ、磐梯朝日国立公園：磐梯吾妻・猪苗代地域のみ、富士箱根伊豆国立公園：富士山麓及び箱根地域のみ、中部山岳国立公園：南部地域（長野県松本市・岐阜県高山市）のみ

5.2 訪問中の満足度

- 滞在全体の満足度で「大変満足・満足」と回答した人は、**14公園計75.0%**となった
- 個別項目の満足度においては、「自然景観」が81.1%で最も高く、「交通案内版・標識整備」が36.7%と最も低い
- 公園別には阿蘇くじゅうが81.9%と高く、次いで霧島錦江湾が81.1%となっている

2024年調査

■ 大変満足
 ■ 満足
 ■ やや満足
 ■ 普通
 ■ やや不満
 ■ 不満
 ■ 大変不満



経年推移

直近3年間における訪問時の満足度（大変満足・満足の割合）は年々上昇傾向にある

■ 大変満足・満足の割合



	阿寒 摩周	支笏 洞爺	十和田 八幡平	三陸 復興	磐梯 朝日	日光	富士箱 根伊豆	中部 山岳	伊勢 志摩	大山 隠岐	阿蘇 くじゅう	霧島 錦江湾	やん ばる	慶良間 諸島	8公園 平均	14公園 平均
2024	72.2	68.3	77.8	72.8	72.8	73.9	76.7	78.1	79.4	77.2	81.9	81.1	74.4	63.1	75.8	75.0
2023	67.2	63.2	70.3	71.3	68.2	68.9	73.7	77.6	75.3	75.0	75.4	74.6	-	59.4	70.8	70.8
2022	54.9	62.3	65.7	-	65.4	72.6	73.9	78.0	72.1	66.0	74.9	72.8	-	55.8	66.9	67.9
2019	66.2	67.2	66.6	-	-	65.6	55.0	81.2	63.3	59.0	72.3	75.3	-	87.9	69.5	69.1
2018	80.8	74.5	80.9	-	-	79.6	70.0	85.3	77.3	71.3	76.8	83.2	-	86.4	79.5	78.7

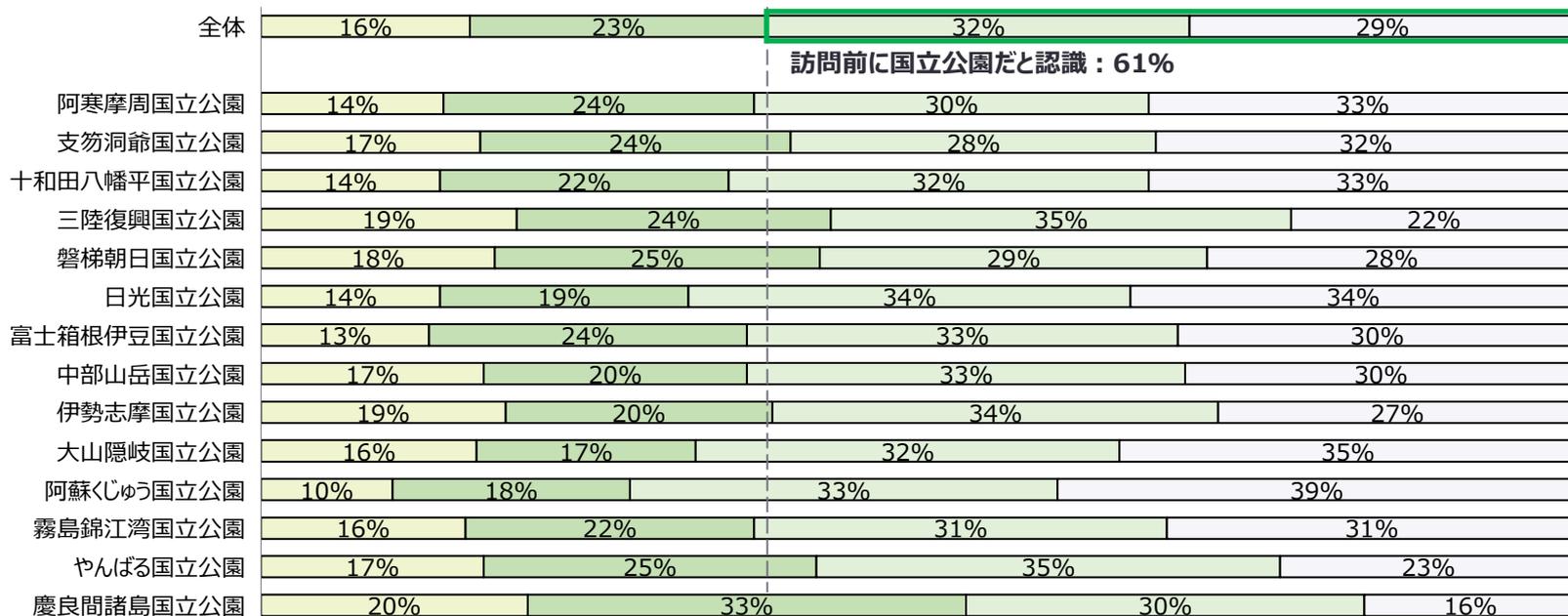
※設問に対する選択肢のうち、「該当無し」と回答した方は除いて集計

5.3 国立公園としての認知度

- 訪問前に国立公園だと認識していた人は、14公園計61.5%となった
- 公園別には阿蘇くじゅうが71.9%と高く、次いで日光が67.5%となっている

2024年調査

- 国立公園だと知らなかった（たった今この調査で知った）
- 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
- 訪問した際に、現地の案内サインやガイド、宿の情報などで知った
- 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	62.5	59.7	64.4	56.7	57.5	67.5	63.1	63.1	61.1	66.9	71.9	62.5	57.8	46.4	62.9	61.5
2023	55.0	54.0	60.5	48.3	53.3	58.0	61.8	55.8	55.5	58.5	60.8	52.0	-	38.8	54.9	54.8

5.3 国立公園としての認知度

- 前年2023年と比較すると、旅行の検討段階から国立公園への訪問を目的とした方の割合は約5.7%増加しており、公園別にみても対象公園全てで認知度は増加傾向にある

経年推移

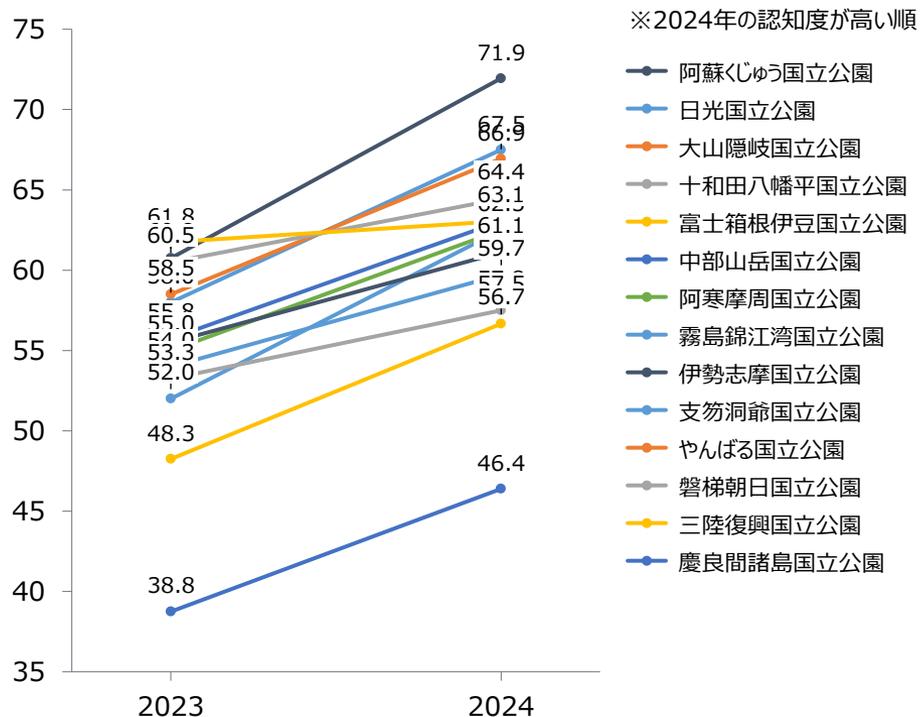
対象公園全体における国立公園としての認知度推移

- 国立公園だと知らなかった（たった今この調査で知った）
- 訪問した際に、現地の案内サインやガイド、宿の情報などで知った
- 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
- 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



各公園における国立公園としての認知度推移

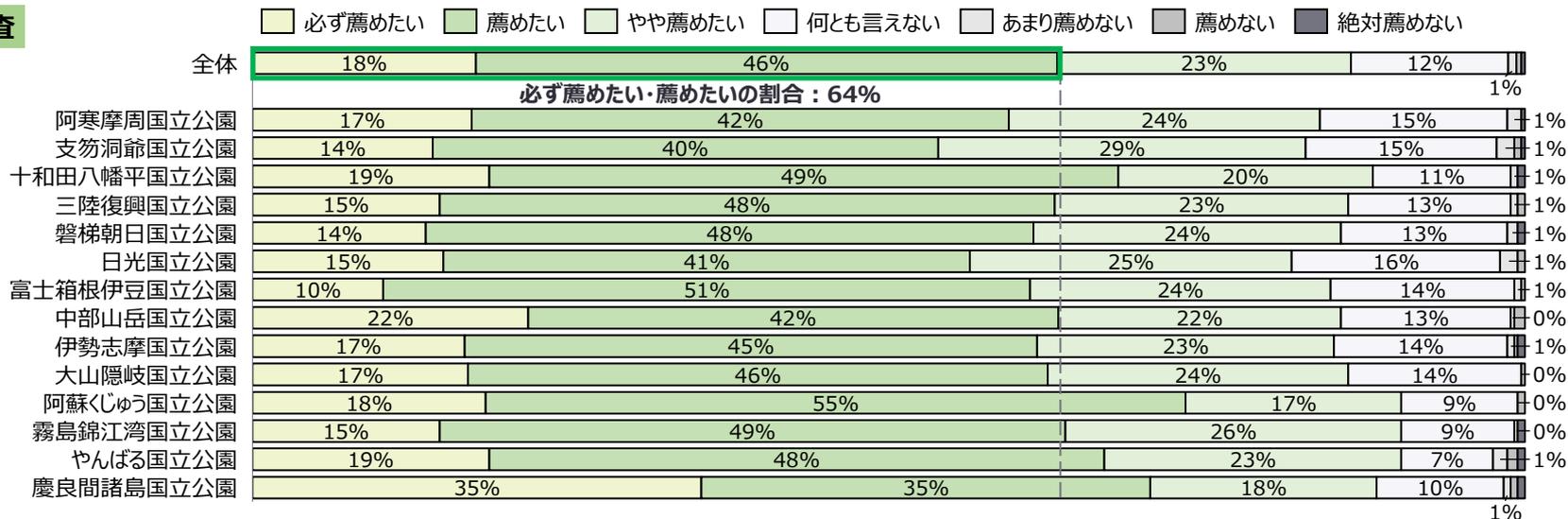
※「訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った」、「旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた」と回答した方の割合の合算値として集計 (%)



5.4 友人・知人への推奨意向

- ・ **推奨意向で「必ず薦めたい・薦めたい」と回答した人は、14公園計63.3%となった**
- ・ 公園別には阿蘇くじゅうが73.3%と高く、次いで慶良間諸島が70.6%となっている

2024年調査



経年推移

友人・知人への**推奨意向は、2022年以降、60%台前半で横ばい推移**している



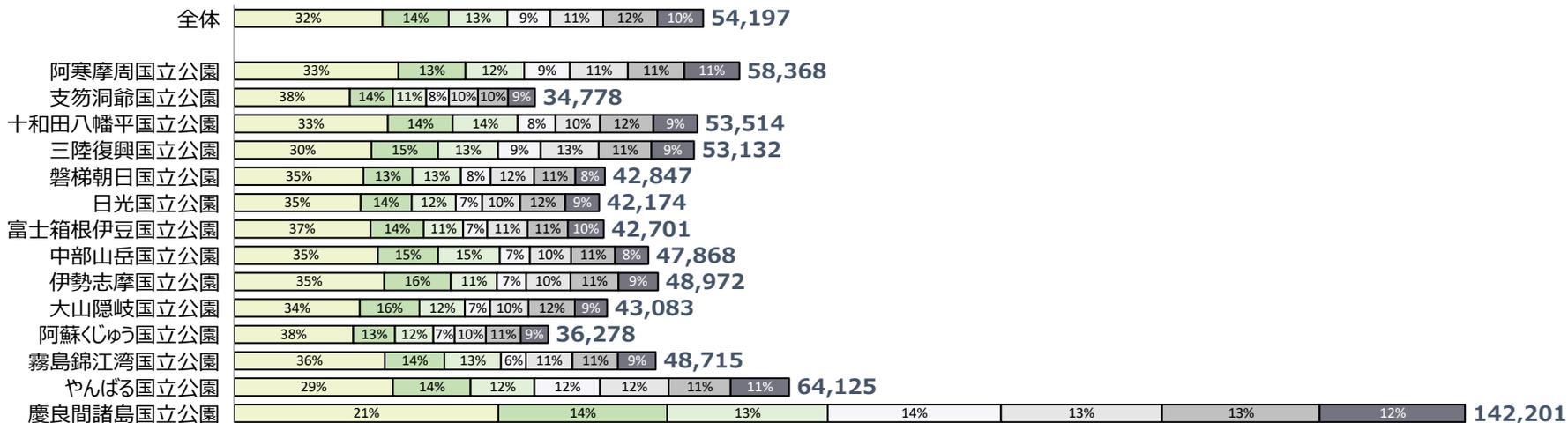
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	59.4	53.9	68.1	63.1	61.4	56.4	61.1	63.3	61.7	62.5	73.3	63.9	66.9	70.6	64.5	63.3
2023	59.0	55.8	64.0	63.8	60.8	56.8	63.0	69.8	64.3	64.8	72.5	66.3	-	60.8	63.5	63.2
2022	57.6	57.5	65.9	-	60.3	66.8	64.6	69.6	65.1	61.2	70.0	67.8	-	65.1	64.9	64.3
2019	87.8	83.5	90.2	-	-	87.9	84.1	93.7	86.5	86.1	89.5	87.4	-	94.9	88.8	88.3
2018	89.3	87.3	94.3	-	-	92.8	88.8	91.7	95.2	89.9	93.9	90.7	-	95.5	92.7	91.8

5.5 訪問中の支出額

- 一人当たり支出額は、14公園平均で**54,197円（中央値は32,500円）**となった
- 公園別には慶良間諸島が142,201円と突出して高く、次いでやんばるが64,125円となっている

2024年調査

公園内宿泊費
 公園内飲食費
 公園内交通費
 自然体験・アクティビティ費
 その他娯楽費
 公園内買い物代
 その他



経年推移

一人当たり支出額は過年度と比較して大幅に上昇しているが、調査形式が異なっている点に留意



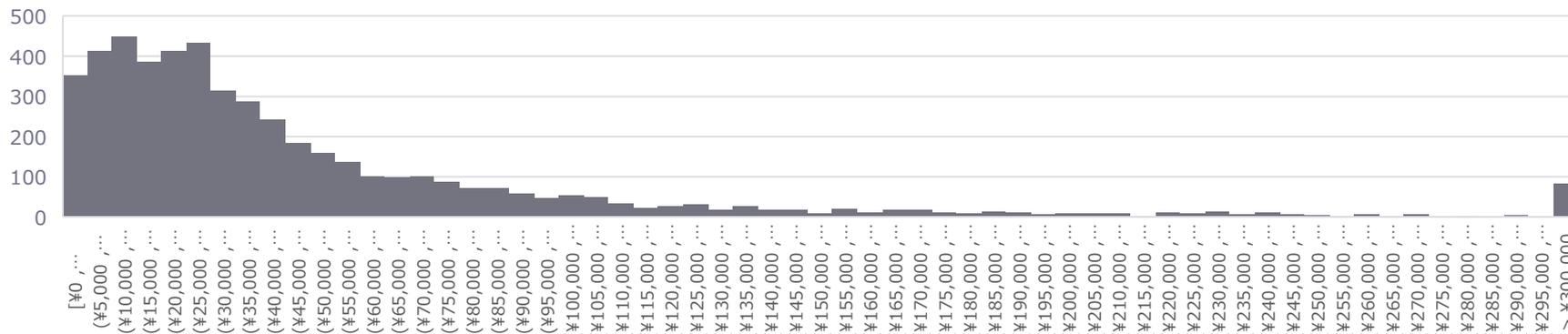
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	58,368	34,778	53,514	53,132	42,847	42,174	42,701	47,868	48,972	43,083	36,278	48,715	64,125	142,201	59,163	54,197
2023	30,028	21,470	27,128	22,821	22,729	26,000	27,615	32,199	32,101	26,721	19,570	31,433	-	41,400	29,298	27,206
2022	28,620	30,104	31,096	-	24,909	25,593	26,838	28,862	34,933	28,571	24,603	28,501	-	50,915	31,604	30,785
2019	19,382	16,051	23,505	-	-	22,921	11,729	33,311	32,940	32,392	12,195	39,751	-	39,844	27,866	25,820
2018	28,462	27,121	36,175	-	-	24,322	20,718	41,509	28,989	30,892	17,105	31,651	-	40,068	29,708	29,728

※ 2022年・2023年は自由記述式で調査。2024年は選択肢形式で調査し、各階級の中央値より平均値を計算

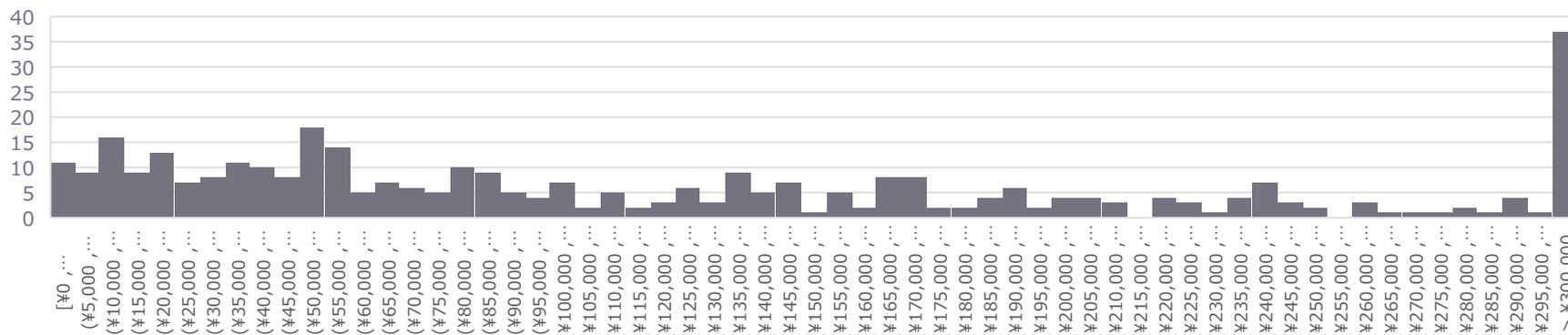
5.5 訪問中の支出額（補足資料）

- 一人当たり支出額に関するヒストグラムにおいては、慶良間諸島では支出額が30万円以上の割合が相対的に高く、一部の来訪者が平均支出額を押し上げた可能性が示唆される

14公園全体における一人当たり支出額（合計金額）



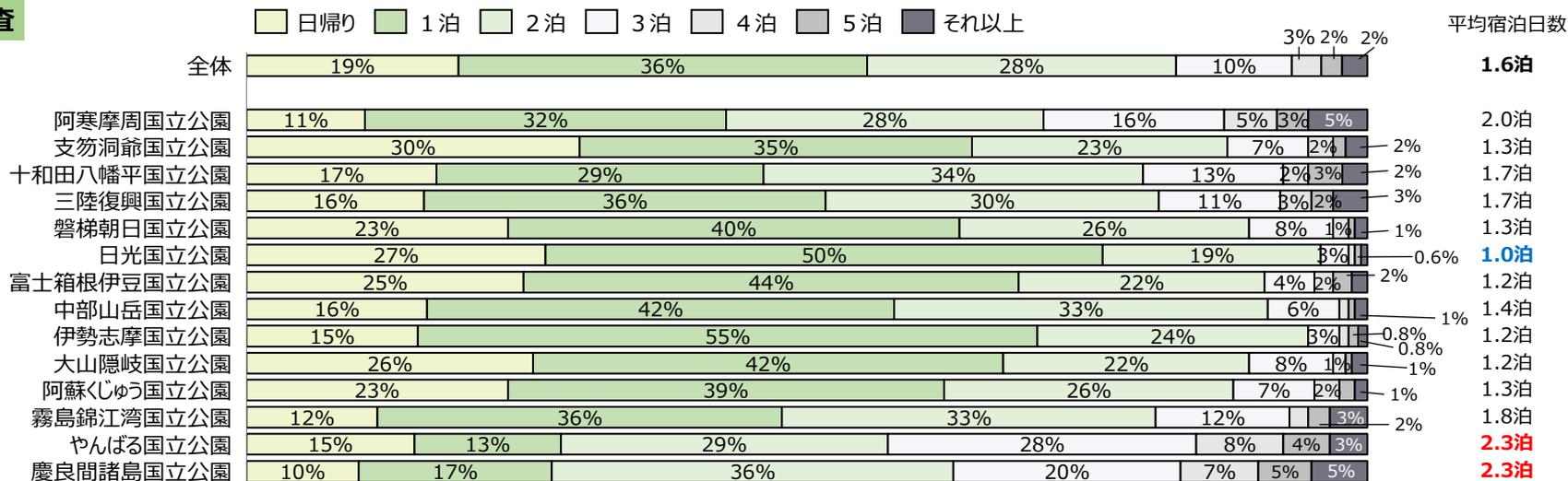
慶良間諸島国立公園における一人当たり支出額（合計金額）



5.6 平均泊数

- **国立公園における平均泊数は、14公園平均で1.4泊**となった
- 公園別にはやんばる・慶良間諸島が平均2.3泊と高く、次いで阿寒摩周が平均2.0泊となっている

2024年調査



経年推移

平均宿泊日数は昨年度よりやや上昇しているが、2022・2023年とは調査設問内容が異なっている点に留意



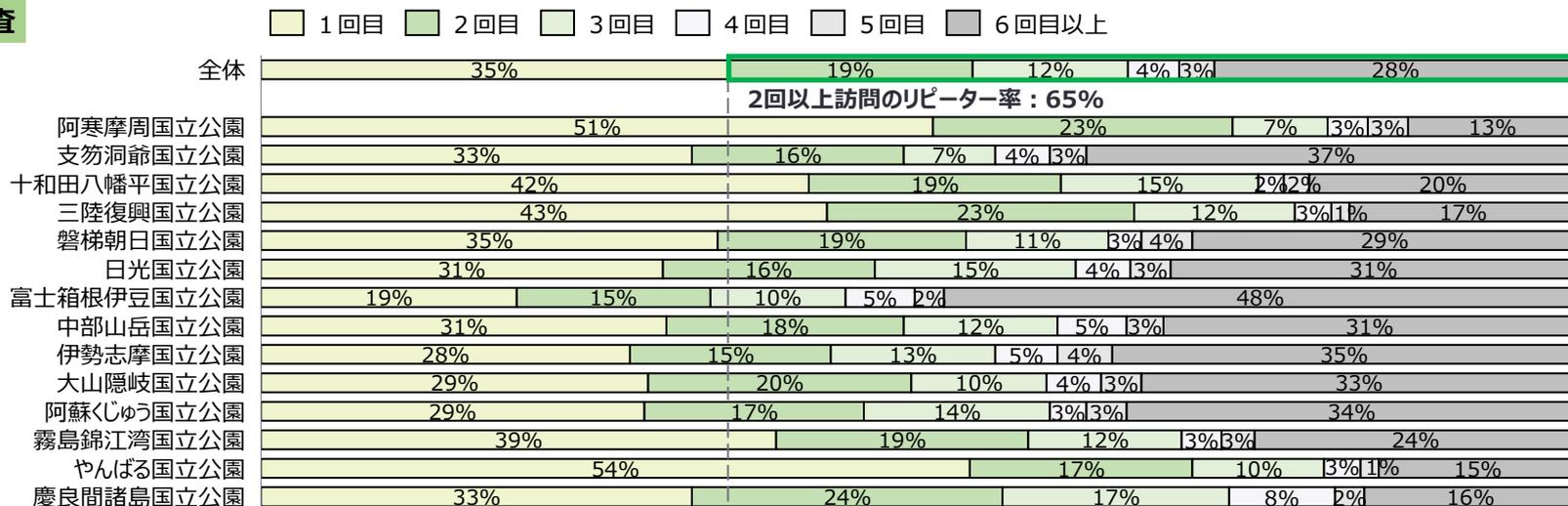
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	2.0	1.3	1.7	1.7	1.3	1.0	1.2	1.4	1.2	1.2	1.3	1.8	2.3	2.3	1.6	1.6
2023	1.4	1.2	1.5	1.2	1.3	1.3	1.2	1.5	1.2	1.3	1.2	1.4	-	2.0	1.4	1.4
2022	1.4	3.4	1.9	-	2.4	3.5	2.2	2.6	2.3	1.6	1.6	1.9	-	1.5	2.0	2.2
2019	2.1	2.0	1.6	-	-	1.5	1.5	1.6	1.3	1.6	1.6	2.2	-	3.3	1.9	1.8
2018	2.5	1.9	2.0	-	-	1.5	1.2	1.9	1.2	1.9	1.8	1.9	-	3.3	2.0	1.9

※2023年調査とは調査設問内容が異なるため、経年比較は参考程度。

5.7 リピーター率

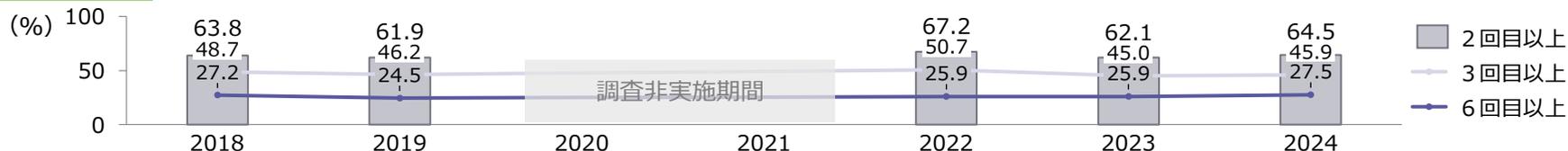
- **国立公園におけるリピーター率は、14公園平均で64.5%となった**
- 公園別には富士箱根伊豆が80.6%と高く、次いで伊勢志摩が71.9%となっている

2024年調査



経年推移

リピーター率（訪問回数2回目以上）は**60%台半ばで横ばい推移**。訪問回数6回目以上の割合はやや増加傾向



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	48.9	67.2	58.3	56.9	65.3	69.4	80.6	69.2	71.9	70.6	70.8	60.8	46.1	67.2	64.8	64.5
2023	48.3	58.3	55.8	49.3	64.8	72.8	80.3	67.3	68.5	66.5	66.0	48.3	-	61.0	60.9	62.1
2022	56.5	64.9	60.5	-	72.2	76.8	81.3	67.5	74.5	71.2	74.1	61.5	-	50.0	65.6	67.2
2019	63.9	66.6	58.8	-	-	82.7	80.8	71.1	57.7	46.4	58.6	42.1	-	52.1	57.8	61.9
2018	58.7	65.0	66.0	-	-	83.2	91.5	67.8	56.0	48.3	68.5	45.7	-	52.3	59.8	63.8

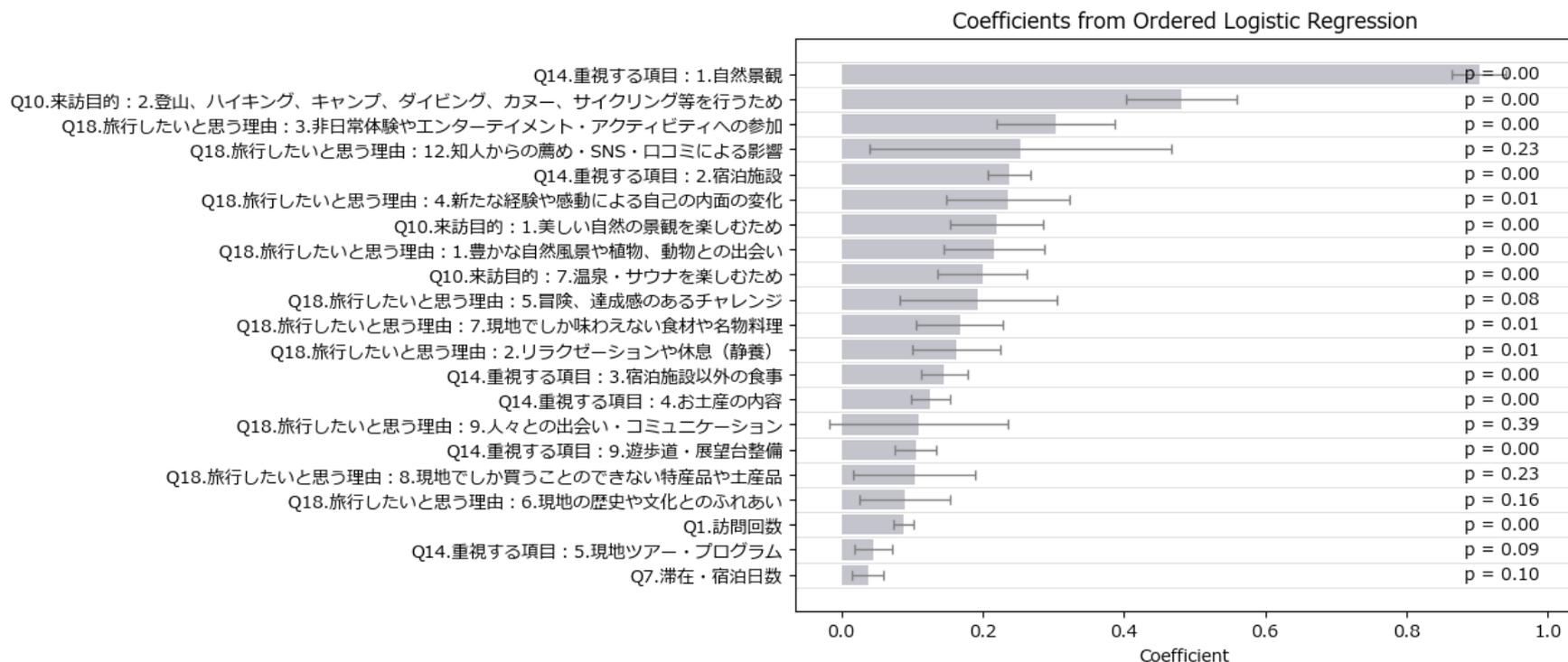
5.8 回帰分析結果

満足度（順序ロジスティック回帰分析）

- 各説明変数のうち、“自然景観を重視するか”どうか**が満足度に最も影響**を与えており、重視するほど満足度が高い傾向
- 登山やアクティビティ等への参加意欲**が高い利用者も満足度が高まりやすい
- 訪問回数や滞在・宿泊日数とも正の相関が認められるが、影響は限定的

「満足度」に対する各説明変数の回帰係数※

※説明変数が1単位増加した時の対数オッズの増加量



※満足度は“大変満足～大変不満”までの7段階で調査しているため、順序ロジスティック回帰分析を採用している

※相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している（表中のp値が0.05以上の説明変数は統計的に有意ではない点に留意が必要）

5.8 回帰分析結果

合計滞在日数（重回帰分析）

- 重回帰分析の結果、旅行手配の方法が合計滞在日数に最も影響を与えており、中でも“**個人手配（宿などへの直接予約）**”の場合に滞在日数が長くなる傾向にある

「合計滞在日数」に対する回帰分析結果

- 情報源、旅行手配、来訪目的、訪問回数を説明変数に採用すると、決定係数は0.753となり統計的有意性がある
- “Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）”のt-値は34.66と最も統計的に有意

重相関係数：0.754 自由度調整済決定係数：0.753

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q3.情報源：5.旅行雑誌・ガイドブック	0.27	0.05	5.71	0.00	0.18	0.36
Q3.情報源：6.旅行会社のパンフレット	0.19	0.07	2.67	0.01	0.05	0.33
Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）	1.50	0.04	34.66	0.00	1.42	1.59
Q4.旅行手配：2.個人手配（OTA（オンライン予約サイト）からの予約）	1.33	0.05	26.81	0.00	1.23	1.43
Q4.旅行手配：3.旅行会社手配（パッケージツアーやバック旅行）	1.51	0.06	23.71	0.00	1.39	1.64
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（テラーメイドの受注型企画旅行）	1.30	0.11	11.55	0.00	1.08	1.52
Q10.来訪目的：1.美しい自然の景観を楽しむため	0.59	0.04	14.39	0.00	0.51	0.67
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	0.27	0.08	3.64	0.00	0.13	0.42
Q10.来訪目的：4.自然体験ガイドツアーに参加するため	0.30	0.09	3.47	0.00	0.13	0.47
Q10.来訪目的：6.地域の生活・文化・歴史に触れるため	0.20	0.06	3.58	0.00	0.09	0.31
Q10.来訪目的：10.リラックスしてゆっくりと過ごすため	0.22	0.05	4.87	0.00	0.13	0.31
Q1.訪問回数	0.04	0.01	4.16	0.00	0.02	0.06

※相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している

5.8 回帰分析結果

一人当たり支出額（重回帰分析）

- 重回帰分析の結果、滞在宿泊日数などが一人当たり支出額に影響を与えており、**滞在・宿泊日数が1日延びると18,110円支出額が増加する**
- その他、**テラーメイドでの旅行手配や自然体験ガイドツアーへの参加が目的の場合に、支出額との正の相関がある**

「一人当たり支出額」に対する回帰分析結果

- 旅行手配、来訪目的、滞在・宿泊日数を説明変数に採用すると、決定係数は0.513となりある程度の統計的有意性がある
- 滞在・宿泊日数のt-値は35.90と説明変数の中で最も統計的に有意

重相関係数：0.514 自由度調整済決定係数：0.513

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（テラーメイドの受注型企画旅行）	46,300	4,954	9.35	0.00	36,600	56,000
Q10.来訪目的：1.美しい自然の景観を楽しむため	-12,280	1,611	-7.62	0.00	-15,400	-9,118
Q10.来訪目的：2.登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うため	9,366	2,400	3.90	0.00	4,660	14,100
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	21,990	3,350	6.57	0.00	15,400	28,600
Q10.来訪目的：4.自然体験ガイドツアーに参加するため	43,200	3,843	11.24	0.00	35,700	50,700
Q10.来訪目的：5.フォトジェニックなまち並みや観光スポットを訪れるため	21,560	2,975	7.25	0.00	15,700	27,400
Q10.来訪目的：6.地域の生活・文化・歴史に触れるため	6,337	2,453	2.58	0.01	1,527	11,100
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	17,110	2,651	6.45	0.00	11,900	22,300
Q10.来訪目的：9.地域ならではの食事を楽しむため	7,546	2,462	3.07	0.00	2,720	12,400
Q7.滞在宿泊日数	18,110	505	35.90	0.00	17,100	19,100

※相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している

5.8 回帰分析結果

訪問回数（重回帰分析）

- 重回帰分析の結果、交通手段などが訪問回数に影響を与えており、**自家用車・レンタカーでの来訪者は他の来訪者より訪問回数が1.95回多い** ※マイカー規制有りの場合は相関なし
- 美しい自然の景観を楽しむことが目的の来訪者はその他の来訪目的の場合と比べて、訪問回数が1.03回多い

「訪問回数」に対する回帰分析結果

- 交通手段、来訪目的を説明変数に採用すると、決定係数は0.654となりある程度の統計的有意性がある
- “Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー（マイカー規制による乗り換えなし）”t-値は34.53と説明変数の中で最も統計的に有意

重相関係数：0.655 自由度調整済決定係数：0.654

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー（マイカー規制による乗り換えなし）	1.95	0.06	34.53	0.00	1.84	2.06
Q10.来訪目的：1.美しい自然の景観を楽しむため	1.03	0.06	18.26	0.00	0.92	1.14
Q10.来訪目的：2.登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うため	0.99	0.08	12.06	0.00	0.83	1.15
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	-0.28	0.11	-2.45	0.01	-0.50	-0.06
Q10.来訪目的：4.自然体験ガイドツアーに参加するため	-0.34	0.13	-2.61	0.01	-0.60	-0.09
Q10.来訪目的：6.地域の生活・文化・歴史に触れるため	0.21	0.08	2.49	0.01	0.04	0.37
Q10.来訪目的：7.温泉・サウナを楽しむため	0.63	0.07	9.14	0.00	0.50	0.77
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	0.35	0.09	3.80	0.00	0.17	0.54
Q10.来訪目的：9.地域ならではの食事を楽しむため	0.30	0.09	3.55	0.00	0.14	0.47
Q10.来訪目的：10.リラックスしてゆっくりと過ごすため	0.49	0.07	7.10	0.00	0.36	0.63
Q10.来訪目的：11.現地に在住又は滞在している友人や親族に会うため	0.63	0.16	3.94	0.00	0.32	0.94

※相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している
 ※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している

5.9 自由記述のテキストマイニング分析結果

- 2019年の現地アンケート調査においても「不満・改善要望」で“交通・バス”といった単語が上位に含まれている
※“道路・渋滞”といった単語は2019年時点では上位に含まれていない

2019年との比較

	2019年調査	2024年調査
特に満足したこと	<p>※頻出単語：[('自然', 460), ('景色', 205), ('景観', 200), ('温泉', 189), ('ビーチ', 83), ...]</p>	<p>※頻出単語：[('自然', 608), ('景観', 527), ('景色', 420), ('温泉', 316), ('食事', 287), ...]</p>
改善要望	<p>※頻出単語：[('バス', 183), ('交通', 142), ('ビーチ', 125), ('トイレ', 117), ('案内', 93), ...]</p>	<p>※頻出単語：[('交通', 237), ('渋滞', 141), ('駐車', 131), ('道路', 116), ('食事', 114), ...]</p>

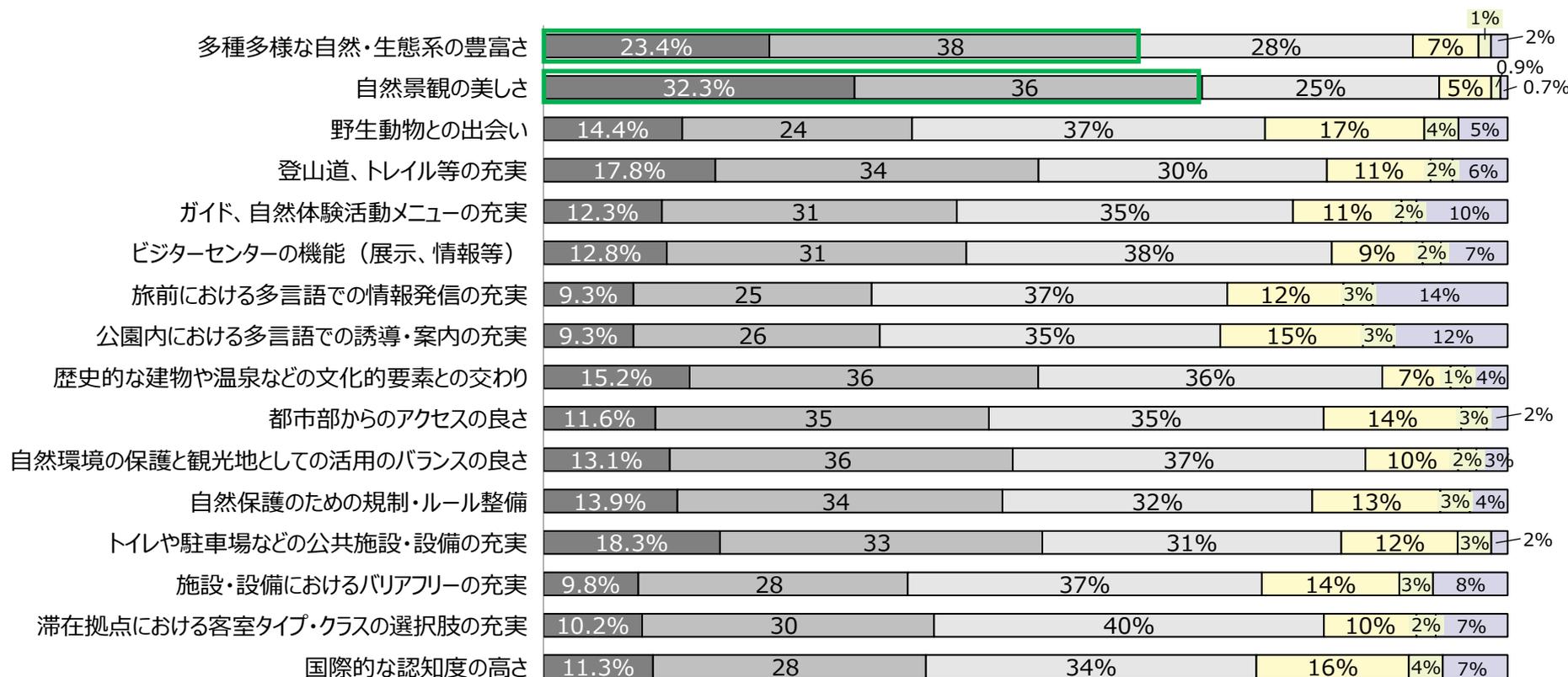
※2019年調査は現地調査、2023年以降はWebアンケート調査とそれぞれ調査手法が異なるため、比較は参考程度

5.10 日本の国立公園の課題

・ 海外の国立公園と比較したとき、“自然景観の美しさ” や“自然・生態系の豊富さ”の評価が特に高く、約60~70%が日本の国立公園の方が印象が良いと感じている

海外の国立公園と比較した際の、日本の国立公園の印象に関する調査結果

非常に良い
 どちらかといえば良い
 普通
 どちらかといえば悪い
 非常に悪い
 わからない



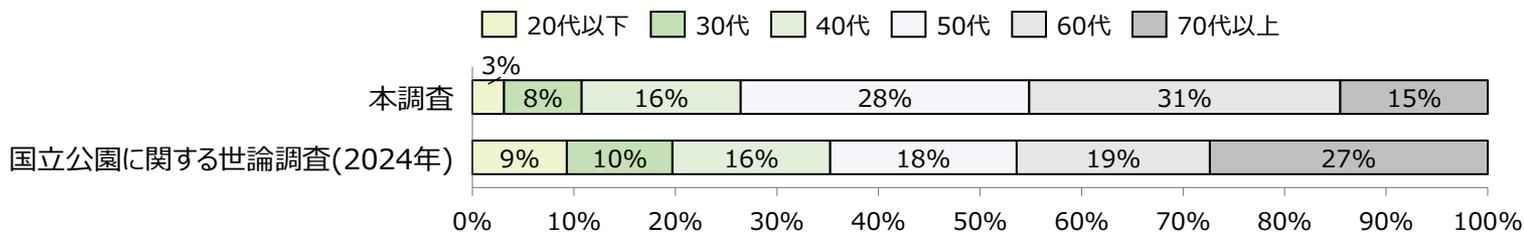
※海外各地域のいずれかの国立公園に対して、“来訪経験がある”と回答した方を対象として調査

5.11 参考) 類似の統計調査との結果比較

- 結果の妥当性検証のために、調査結果について世論調査および観光統計データとの比較を実施
- 観光統計データと比較すると、平均泊数はやや少ないが平均支出額は高く、1日当たりの消費単価は国立公園エリアの方が高い

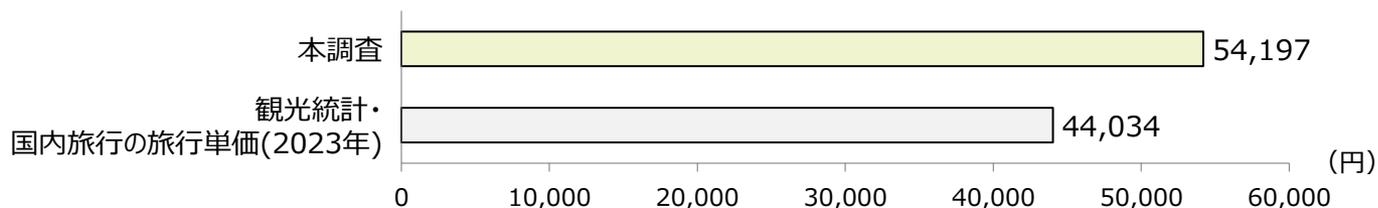
【回答者属性の妥当性】

回答者の 年齢分布

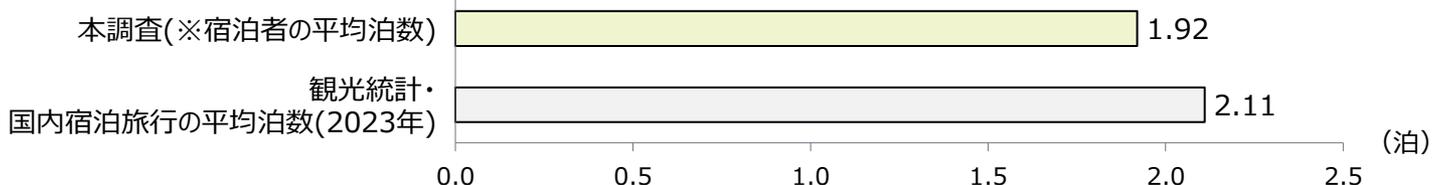


【観光統計との結果比較】

支出額



滞在・宿泊日数



6. 利用者アンケート調査の結果 (外国人Webアンケート)

6.1 外国人Webアンケート調査の概要

調査概要

- 訪日外国人向け調査は、2023年より日本人向け調査と同様にWebアンケートパネル調査による質の指標の収集・分析を開始している
- 2024年調査においては、前年度の成果を踏まえて一部設問設計の改善を図りつつ、継続的な調査を実施した。また、国別の調査サンプル数の割付の際は、観光庁「インバウンド消費動向調査」における国別来訪者の割合に準じて設定した

アンケート調査の仕様

	2018	2019	2020-2022	2023	2024
調査方法	現地型アンケート調査 (紙面回答方式 + Web回答方式)		調査非実施 期間	Webモニター型アンケート調査	
対象国籍	英語・韓国語・中国語で回答可能な方			アジア：韓国、香港、台湾、中国、タイ、シンガポール 欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、フランス、ドイツ	
対象公園	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 		計13公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興(新規追加) 磐梯朝日※(新規追加) 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計14公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 やんばる(新規追加)
回答者数	約3,700 票 (各公園 約100票以上)			約550票 (各公園 約36~50票)	

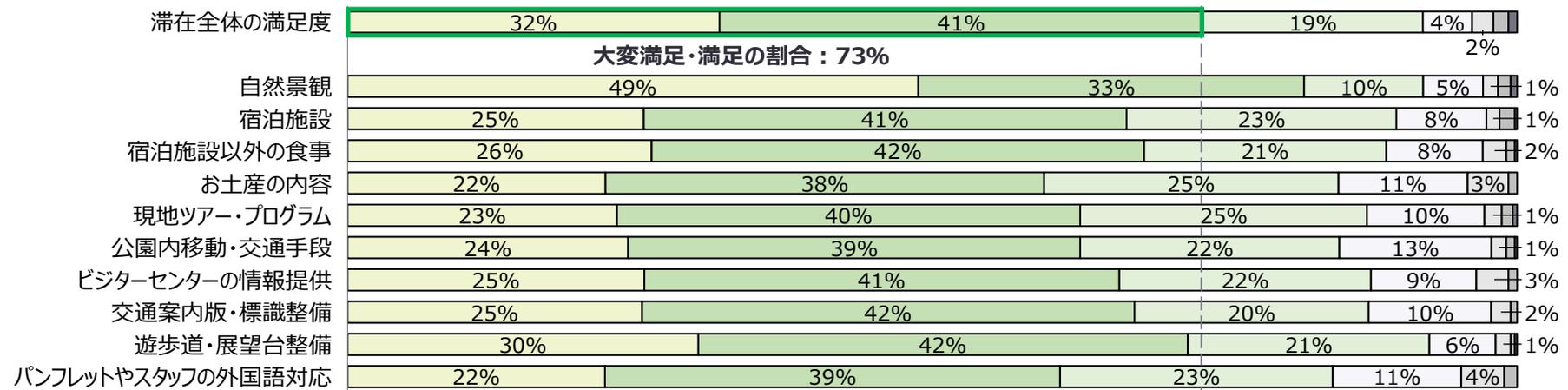
※ 支笏洞爺国立公園：支笏湖・定山溪地域のみ、磐梯朝日国立公園：磐梯吾妻・猪苗代地域のみ、富士箱根伊豆国立公園：富士山麓及び箱根地域のみ、中部山岳国立公園：南部地域（長野県松本市・岐阜県高山市）のみ

6.2 訪問中の満足度

- 滞在全体の満足度で「大変満足・満足」と回答した人は、**14公園計73.1%**となった
- 個別項目の満足度においては、「自然景観」が81.8%で最も高く、「お土産の内容」が59.6%と最も低い
- 公園別にはやんばるが89.5%と高く、次いで支笏洞爺が82.1%となっている

2024年調査

大変満足
 満足
 やや満足
 普通
 やや不満
 不満
 大変不満



経年推移

2018年より訪問時の満足度（大変満足・満足の割合）は約75%程度を維持しており一定の評価を得ている



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	73.7	82.1	71.1	65.0	71.1	78.6	79.6	71.1	73.7	58.3	68.4	69.2	89.5	69.4	70.3	73.1
2023	77.5	80.6	78.7	66.7	71.2	86.7	81.6	83.3	85.7	84.9	76.7	77.4	-	77.9	80.7	79.9
2019	85.5	85.5	87.4	-	-	86.1	87.4	90.7	84.8	65.2	84.9	81.6	-	91.2	83.3	84.6
2018	92.1	89.3	88.3	-	-	88.8	82.8	92.1	89.5	84.5	82.0	79.1	-	88.3	86.6	87.0

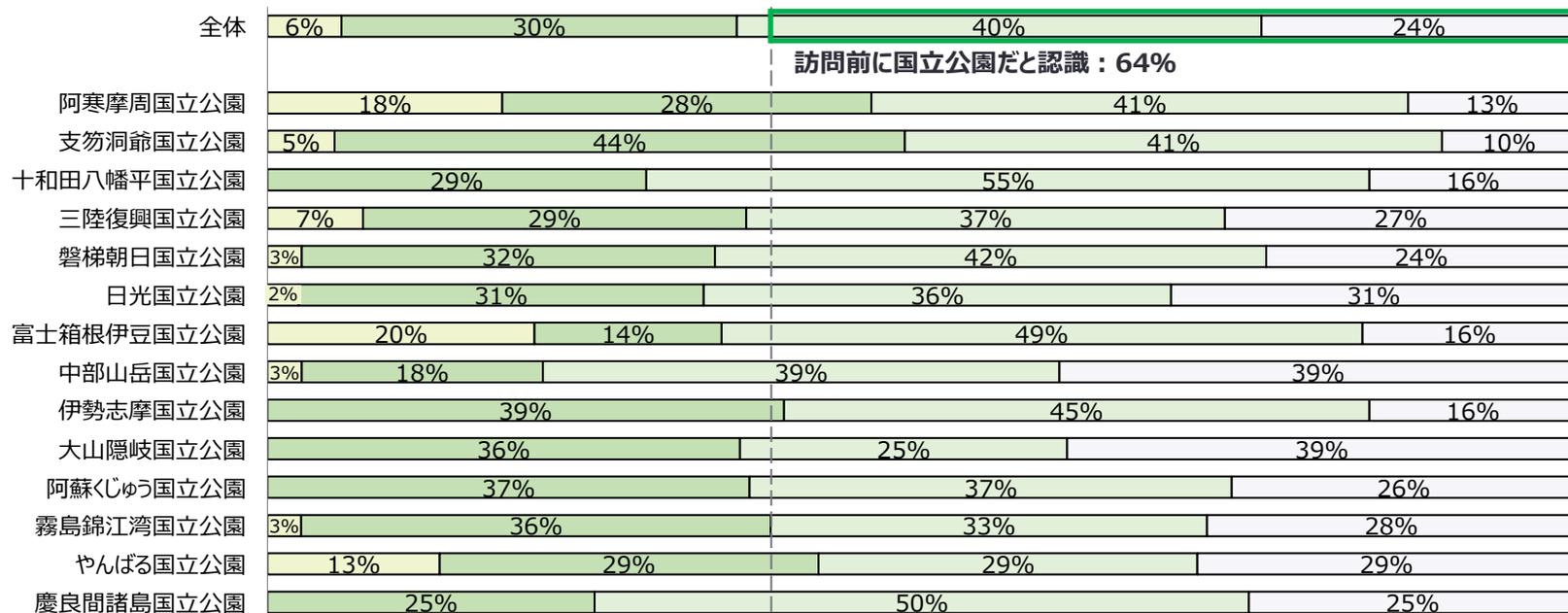
※設問に対する選択肢のうち、「該当無し」と回答した方は除いて集計

6.3 国立公園としての認知度

- 訪問前に国立公園だと認識していた方は、14公園計64.2%となった
- 公園別には中部山岳が78.9%と高く、次いで慶良間諸島が75.0%となっている

2024年調査

国立公園だと知らなかった（たった今この調査で知った）
 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
 訪問した際に、現地の案内サインやガイド、宿の情報などで知った
 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	53.8	51.3	71.1	63.4	65.8	66.7	65.3	78.9	60.5	63.9	63.2	61.5	57.9	75.0	64.5	64.2
2023	57.7	62.0	45.9	44.4	41.8	58.7	61.7	55.4	49.0	55.6	50.0	45.3	-	56.7	52.4	52.6

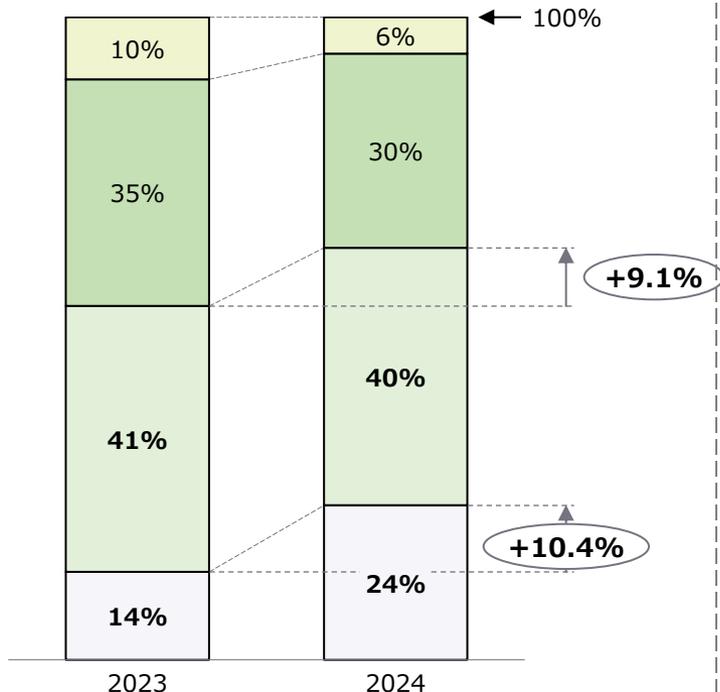
6.3 国立公園としての認知度

• 前年2023年と比較すると、旅行の検討段階から国立公園への訪問を目的とした方の割合は約10.4%増加しており、公園別にみても多くの公園で認知度は増加傾向にある

経年推移

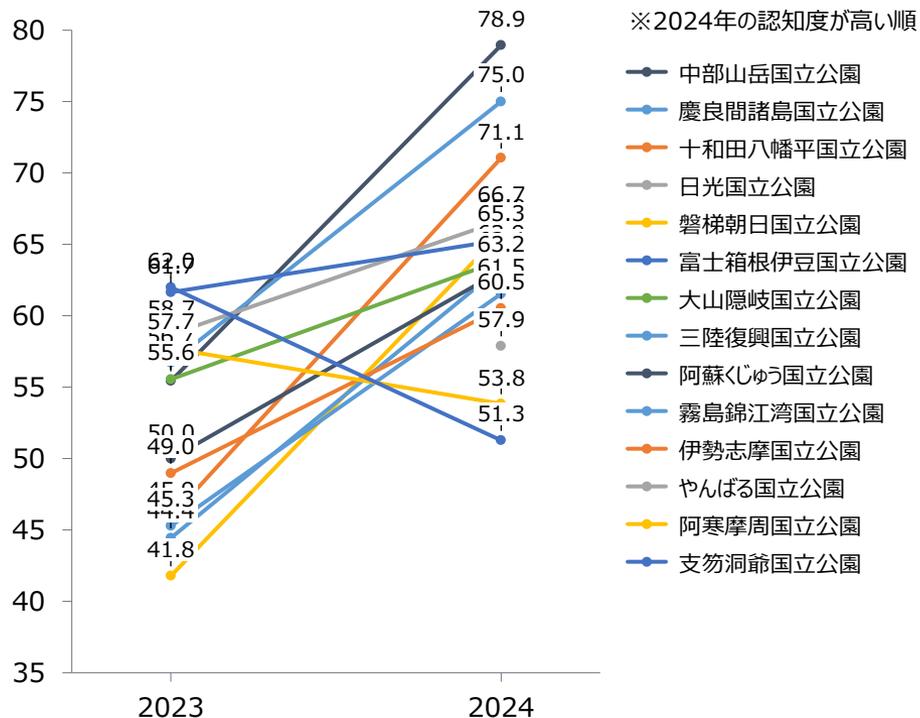
対象公園全体における国立公園としての認知度推移

- 国立公園だと知らなかった（たった今この調査で知った）
- 訪問した際に、現地の案内サインやガイド、宿の情報などで知った
- 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
- 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



各公園における国立公園としての認知度推移

※「訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った」、「旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた」と回答した方の割合の合算値として集計 (%)

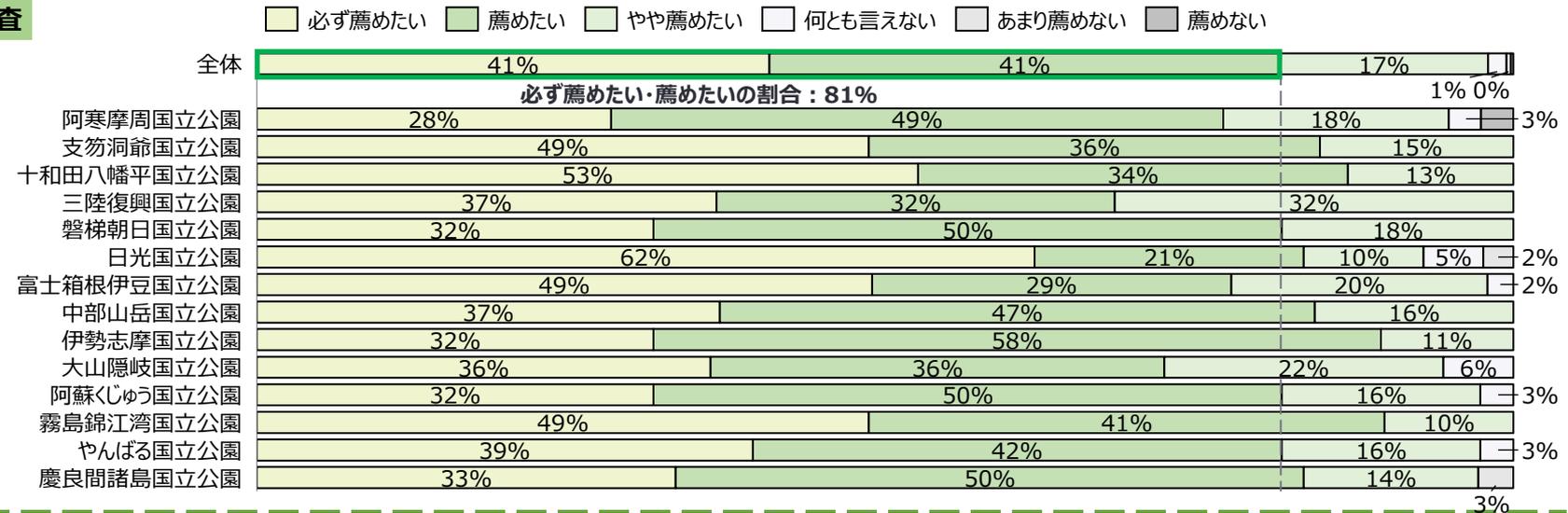


※2022年以前は調査設問内容が異なるため、経年比較の対象から除外している

6.4 友人・知人への推奨意向

- **推奨意向で「必ず薦めたい・薦めたい」と回答した人は、14公園計81.4%となった**
- 公園別には霧島錦江湾が89.7%と高く、次いで伊勢志摩が89.5%となっている

2024年調査



経年推移

友人・知人への**推奨意向（必ず薦めたい・薦めたいの割合）**は2023年以降80%台前半で推移している



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	76.9	84.6	86.8	68.3	81.6	83.3	77.6	84.2	89.5	72.2	81.6	89.7	81.6	83.3	82.9	81.4
2023	87.0	84.0	78.7	88.9	77.6	80.4	87.4	83.7	81.6	74.1	73.7	79.2	-	81.4	79.5	82.3
2019	92.5	93.1	91.5	-	-	93.3	94.0	95.0	90.0	71.7	90.2	83.4	-	97.0	88.7	90.2
2018	95.6	93.6	96.2	-	-	95.8	97.2	97.0	94.4	93.2	94.2	85.2	-	95.3	93.7	94.3

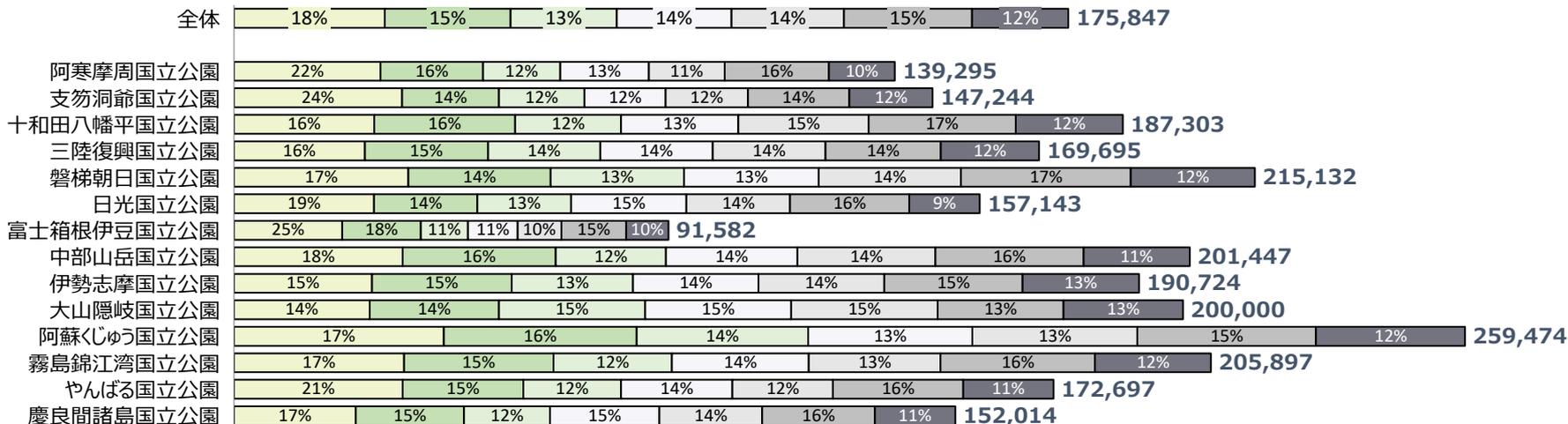
※2018~2019年調査と2023~2024年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。

6.5 訪問中の支出額

- 一人当たり支出額は、**14公園平均で175,847円（中央値は137,500円）**となった
- 公園別には阿蘇くじゅうが259,474円と高く、次いで磐梯朝日が215,132円となっている

2024年調査

公園内宿泊費
 公園内飲食費
 公園内交通費
 自然体験・アクティビティ費
 その他娯楽費
 公園内買い物代
 その他



経年推移

一人当たり支出額は過年度と比較して大幅に上昇しているが、調査形式が異なっている点に留意



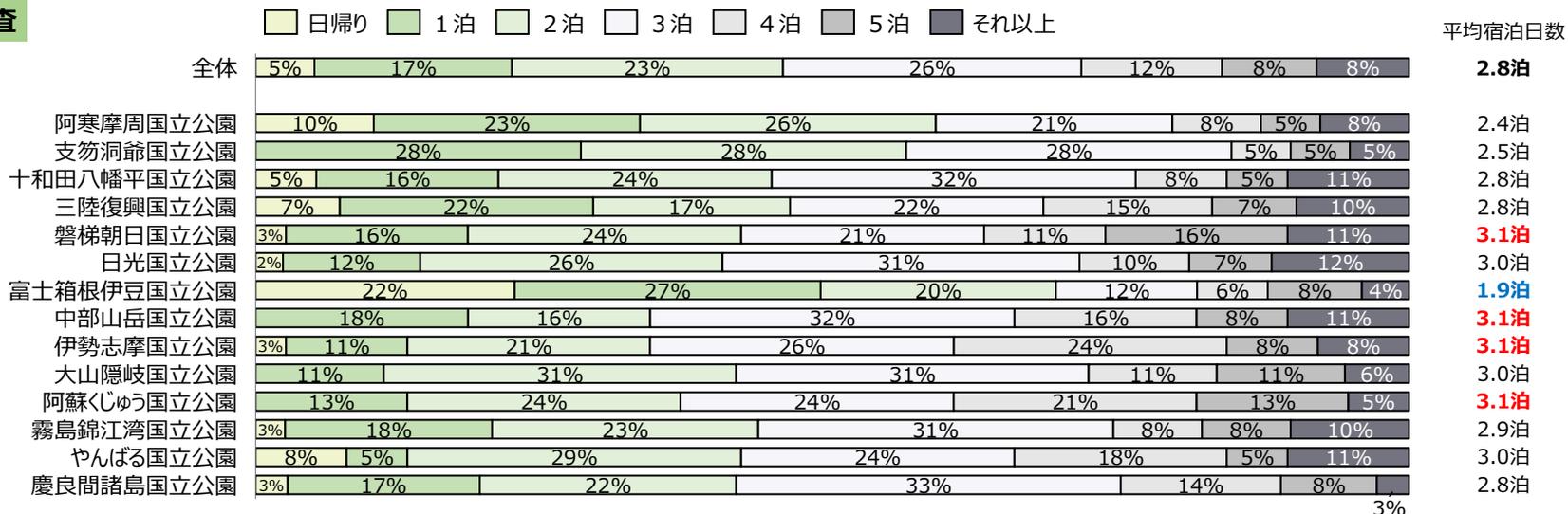
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	139,295	147,244	187,303	169,695	215,132	157,143	91,582	201,447	190,724	200,000	259,474	205,897	172,697	152,014	186,481	175,847
2023	82,126	76,657	70,457	56,919	53,638	52,088	73,906	64,806	61,623	62,152	51,279	58,595	-	59,860	62,273	63,393
2019	68,633	57,467	66,023	61,299	-	37,081	39,754	56,697	90,629	85,957	42,409	95,537	-	34,102	65,046	61,299
2018	75,411	76,744	62,147	-	-	31,388	67,765	68,038	68,478	61,663	66,376	118,756	-	34,686	64,863	66,496

※2023年調査とは調査設問内容が異なるため、経年比較は参考程度。（2023年までは自由記述式、2024年は選択肢形式で調査）

6.6 平均泊数

- **国立公園における平均泊数**は、**14公園平均で2.8泊**となった
- 公園別には磐梯朝日・中部山岳・伊勢志摩・阿蘇くじゅうが3.1泊、日光・大山隠岐・やんばるが3.0泊と高い

2024年調査



経年推移

平均宿泊日数は昨年度より大幅に上昇しているが、2022・2023年とは調査設問内容が異なっている点に留意



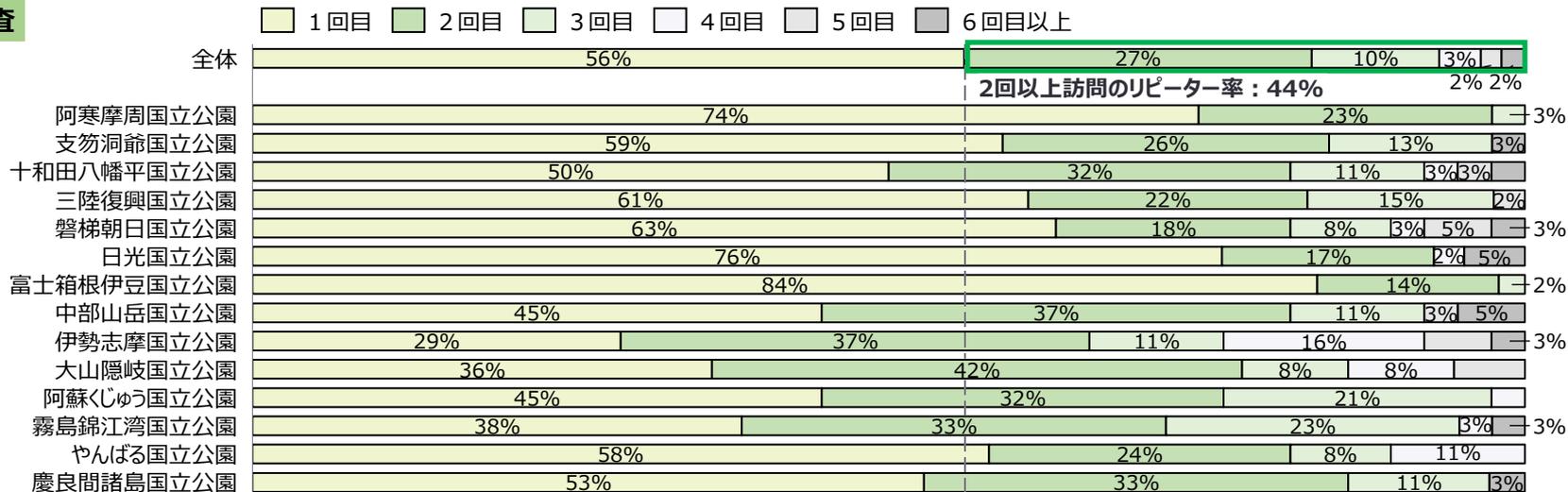
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	2.4	2.5	2.8	2.8	3.1	3.0	1.9	3.1	3.1	3.0	3.1	2.9	3.0	2.8	2.9	2.8
2023	0.6	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	-	0.3	0.4	0.4
2019	3.6	3.7	2.5	-	-	3.2	1.8	2.7	2.4	3.3	2.9	3.5	-	6.2	3.5	3.3
2018	3.8	3.5	3.0	-	-	2.8	2.7	2.8	2.1	4.0	2.9	3.2	-	5.9	3.5	3.3

※2023年調査とは調査設問内容が異なるため、経年比較は参考程度。

6.7 リピーター率

- **国立公園におけるリピーター率は、14公園平均で44.1%となった**
- 公園別には伊勢志摩が71.1%と高く、次いで大山隠岐が63.9%となっている

2024年調査



経年推移

リピーター率（訪問回数2回目以上）は右肩上がり↑で上昇推移している



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2024	25.6	41.0	50.0	39.0	36.8	23.8	16.3	55.3	71.1	63.9	55.3	61.5	42.1	47.2	49.8	44.1
2023	32.5	35.0	37.7	40.7	26.9	30.4	20.4	35.9	18.4	25.9	13.2	18.9	-	22.7	25.0	26.9
2019	13.5	14.9	17.0	-	-	22.0	21.7	16.2	15.5	7.5	7.9	11.3	-	14.7	13.7	14.6
2018	14.9	11.9	15.7	-	-	17.8	40.4	14.7	14.5	9.5	12.2	8.4	-	15.4	13.6	15.9

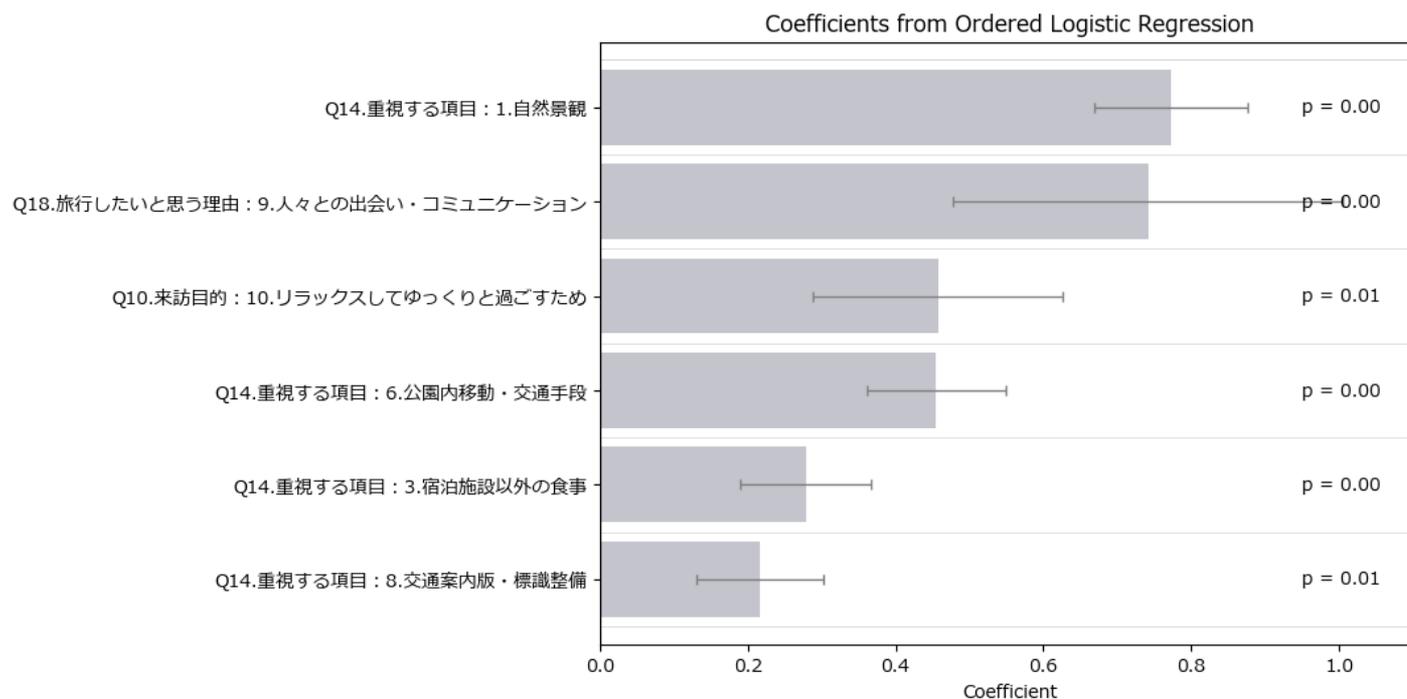
6.8 回帰分析結果

満足度（順序ロジスティック回帰分析）

- 日本人と同様、“自然景観を重視するか”どうかは満足度に最も影響を与えており、重視するほど満足度が高い傾向
- 次点として、“人々との出会い・コミュニケーション”を目的に旅行する人ほど満足度と正の相関があり、これは日本人とは傾向が異なる

「満足度」に対する各説明変数の回帰係数※

※説明変数が1単位増加した時の対数オッズの増加量



※満足度は“大変満足～大変不満”までの7段階で調査しているため、順序ロジスティック回帰分析を採用している

※相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している（表中のp値が0.05以上の説明変数は統計的に有意ではない点に留意が必要）

6.8 回帰分析結果

合計滞在日数（重回帰分析）

- 重回帰分析の結果、来訪目的などが合計滞在日数に最も影響を与えており、来訪目的として“美しい自然の景観を楽しむ”と回答した方は特に滞在日数が長い傾向にある

「合計滞在日数」に対する回帰分析結果

- 情報源、旅行手配、来訪目的、訪問回数を説明変数に採用すると、決定係数は0.856となり統計的有意性がある
- “Q10.来訪目的：1.美しい自然の景観を楽しむ”のt-値は9.83と最も統計的に有意

重相関係数：0.859 自由度調整済決定係数：0.856

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q3.情報源：7.TVメディアでの紹介	-0.40	0.17	-2.36	0.02	-0.73	-0.07
Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）	0.77	0.14	5.56	0.00	0.50	1.04
Q4.旅行手配：2.個人手配（OTA（オンライン予約サイト）からの予約）	0.99	0.14	7.31	0.00	0.73	1.26
Q4.旅行手配：3.旅行会社手配（パッケージツアーやバック旅行）	0.68	0.15	4.50	0.00	0.38	0.97
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（テラーメイドの受注型企画旅行）	0.54	0.24	2.26	0.02	0.07	1.01
Q10.来訪目的：1.美しい自然の景観を楽しむため	1.20	0.12	9.83	0.00	0.96	1.44
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	0.73	0.15	4.89	0.00	0.44	1.02
Q10.来訪目的：4.自然体験ガイドツアーに参加するため	0.34	0.15	2.30	0.02	0.05	0.62
Q10.来訪目的：6.地域の生活・文化・歴史に触れるため	0.52	0.14	3.88	0.00	0.26	0.79
Q10.来訪目的：7.温泉・サウナを楽しむため	0.56	0.14	4.11	0.00	0.29	0.82
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	0.39	0.17	2.32	0.02	0.06	0.73
Q1_訪問回数	0.49	0.07	7.53	0.00	0.36	0.61

※相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している

6.8 回帰分析結果

一人当たり支出額（重回帰分析）

- 重回帰分析の結果、滞在宿泊日数などが一人当たり支出額に影響を与えており、**滞在・宿泊日数が1日延びると18,750円支出額が増加する**

「一人当たり支出額」に対する回帰分析結果

- 旅行手配、来訪目的、訪問回数、滞在・宿泊日数を説明変数に採用すると、決定係数は0.693となり統計的有意性がある
- 滞在・宿泊日数のt-値は5.69と説明変数の中で最も統計的に有意

重相関係数：0.697 自由度調整済決定係数：0.693

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）	64,040	11,200	5.71	0.00	42,000	86,100
Q4.旅行手配：2.個人手配（OTA（オンライン予約サイト）からの予約）	46,890	11,200	4.20	0.00	24,900	68,800
Q4.旅行手配：3.旅行会社手配（パッケージツアーやパック旅行）	65,910	11,700	5.62	0.00	42,900	89,000
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（テラーメイドの受注型企画旅行）	39,580	18,800	2.10	0.04	2,631	76,500
Q10.来訪目的：1.美しい自然の景観を楽しむため	-39,410	10,400	-3.78	0.00	-59,900	-18,900
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	26,510	12,100	2.20	0.03	2,795	50,200
Q1_訪問回数	22,240	5,398	4.12	0.00	11,600	32,800
Q7_滞在・宿泊日数	18,750	3,296	5.69	0.00	12,300	25,200

※前述の相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している

6.8 回帰分析結果

訪問回数（重回帰分析）

- 重回帰分析の結果、来訪のきっかけとなった情報源などが訪問回数に影響を与えており、**家族・友人等の紹介推奨や個人ブログ・SNSの活用有無との相関が比較的強い**
- なお、日本人調査とは異なり、マイカー規制の有無による訪問回数の差は認められない

「訪問回数」に対する回帰分析結果

- 情報源、交通手段、来訪目的を説明変数に採用すると、決定係数は0.715となり統計的有意性がある
- “Q3.情報源：2.個人ブログ・SNS”のt-値は6.87と説明変数の中で最も統計的に有意

重相関係数：0.721 自由度調整済決定係数：0.715

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q3.情報源：1.家族・友人等の紹介・推奨	0.51	0.09	5.67	0.00	0.33	0.68
Q3.情報源：2.個人ブログ・SNS	0.61	0.09	6.87	0.00	0.43	0.78
Q3.情報源：3.地域・施設の公式サイト	0.40	0.10	4.19	0.00	0.21	0.59
Q3.情報源：4.その他ウェブサイト	0.34	0.13	2.64	0.01	0.09	0.60
Q3.情報源：5.旅行雑誌・ガイドブック	0.44	0.09	4.85	0.00	0.26	0.62
Q3.情報源：6.旅行会社のパンフレット	0.46	0.12	4.00	0.00	0.24	0.69
Q3.情報源：8.旅行会社やコンシェルジュからの提案	0.38	0.16	2.41	0.02	0.07	0.68
Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー(マイカー規制による乗り換えなし)	0.34	0.10	3.32	0.00	0.14	0.55
Q6.交通手段：2.自家用車・レンタカー(マイカー規制による乗り換えあり)	0.44	0.12	3.79	0.00	0.21	0.66
Q10.来訪目的：2.登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うため	0.28	0.11	2.60	0.01	0.07	0.49
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	0.22	0.11	2.10	0.04	0.01	0.43
Q10.来訪目的：10.リラックスしてゆっくりと過ごすため	0.21	0.09	2.23	0.03	0.03	0.40

※前述の相関分析により相関係数が0.1未満の項目は、あらかじめ回帰分析の説明変数から除外している

※後退除去法により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している

6.9 自由記述のテキストマイニング分析結果

- 直近2カ年のアンケートで「特に満足したこと」と「不満・改善要望」について、テキストマイニング形式で自由記述回答を集計したところ、自然景観に対する好感の声が多いものの、交通の不便さや多言語対応等への改善が求められている

直近2カ年での比較

	2023年調査	2024年調査
特に満足したこと	<p>※頻出単語：[('景色', 144), ('自然', 140), ('サービス', 88), ('風景', 64), ('施設', 61), ...]</p>	<p>※頻出単語：[('自然', 70), ('景観', 55), ('景色', 51), ('食事', 32), ('サービス', 31), ...]</p>
改善要望	<p>※頻出単語：[('交通', 51), ('施設', 24), ('宿泊', 19), ('サービス', 18), ('中国語', 18), ...]</p>	<p>※頻出単語：[('交通', 21), ('外国語', 11), ('コミュニケーション', 9), ('言語', 9), ('食事', 9), ...]</p>

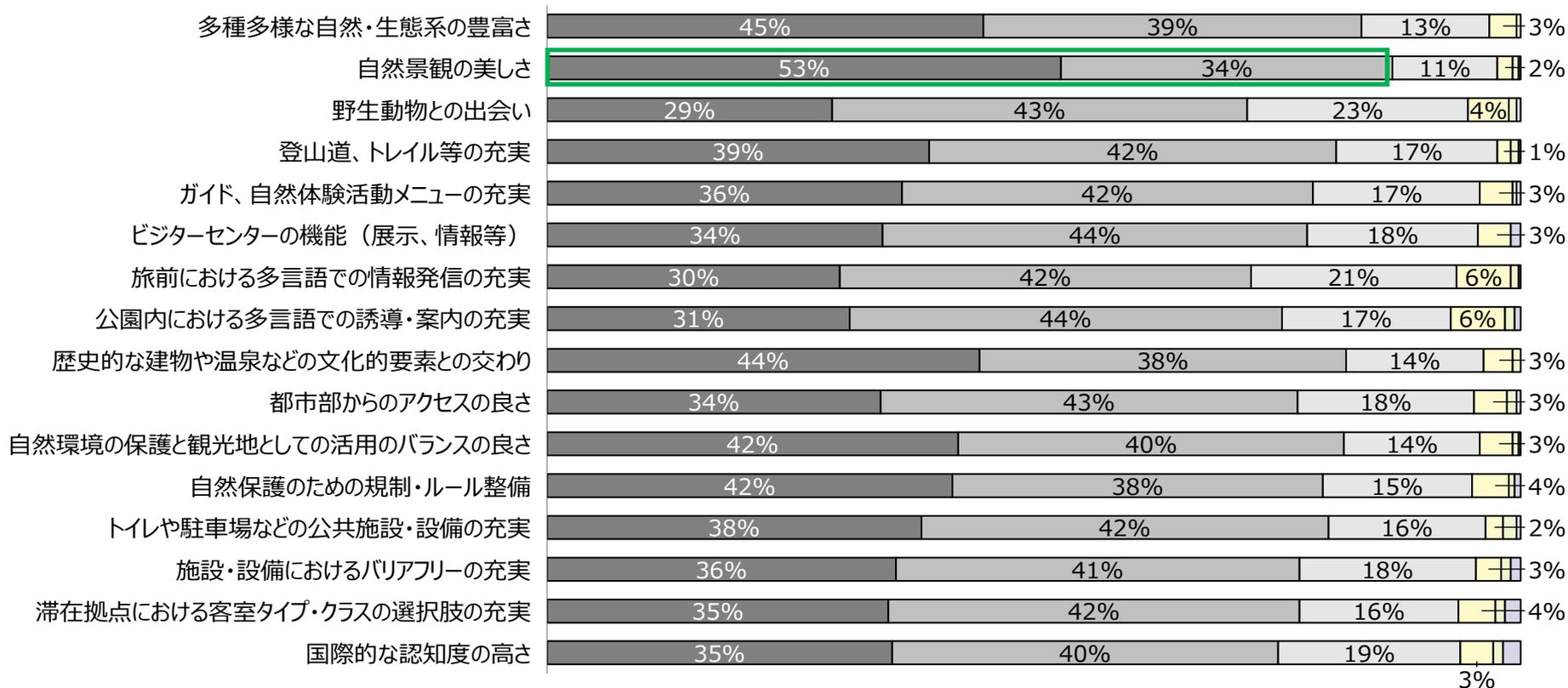
※2023年と2024年では回答母数が異なる点に留意が必要

6.10 日本の国立公園の課題

- 海外の国立公園と比較したとき、約70~90%の来訪者は日本の国立公園の方が印象が良いと感じている
- 項目別では、“自然景観の美しさ”の評価が特に高い

海外の国立公園と比較した際の、日本の国立公園の印象に関する調査結果

非常に良い
 どちらかといえば良い
 普通
 どちらかといえば悪い
 非常に悪い
 わからない



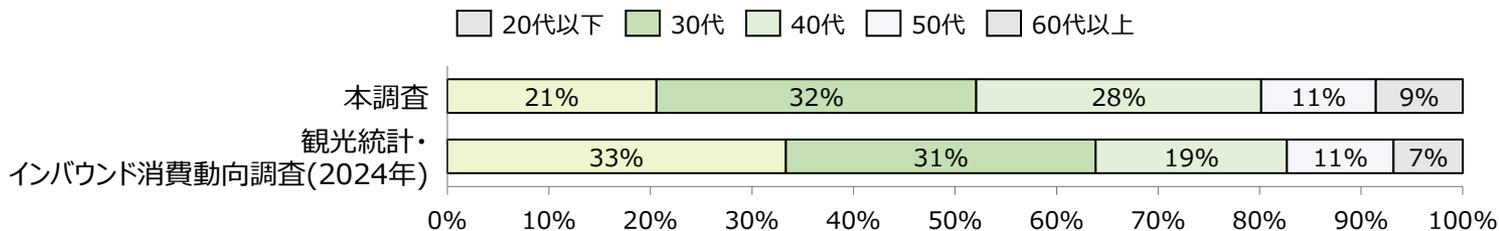
※海外各地域のいずれかの国立公園に対して、“来訪経験がある”と回答した方を対象として調査

6.11 参考) 類似の統計調査との結果比較

- 結果の妥当性検証のために、調査結果について世論調査および観光統計データとの比較を実施
- 支出額、滞在・宿泊日数は観光統計よりも低い値となっているが、本調査は国立公園エリアに限定した内容を聴取しているため比較結果は参考程度

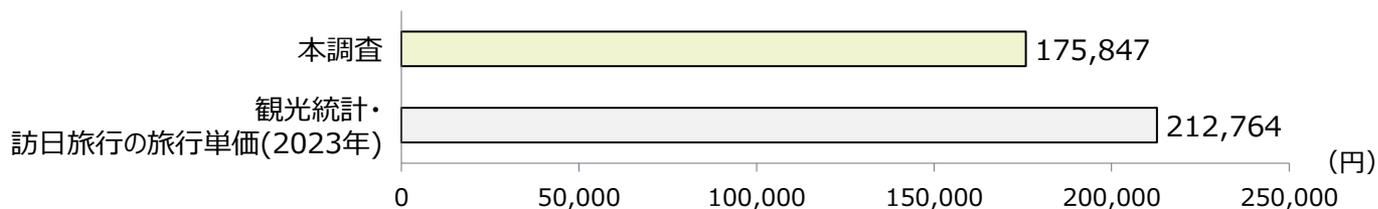
【回答者属性の妥当性】

回答者の 年齢分布

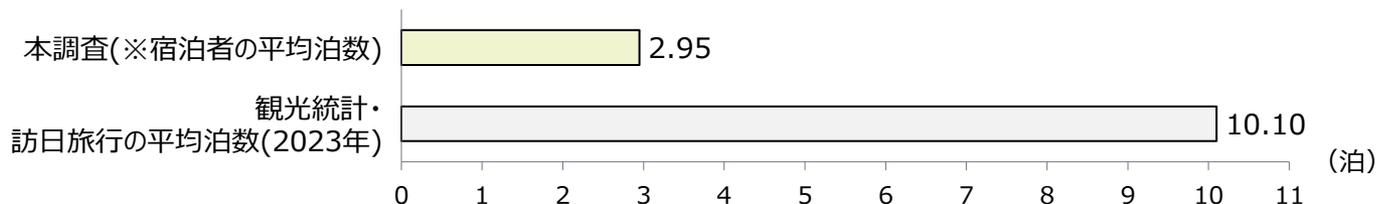


【観光統計との結果比較】

支出額



滞在・宿泊日数



**注) 本調査では国立公園およびその周辺エリアでの泊数を調査しているのに対し、観光統計では訪日体験全体について調査している点に留意
また、観光統計では、日本への長期滞在者も含んだ平均値である点に留意**

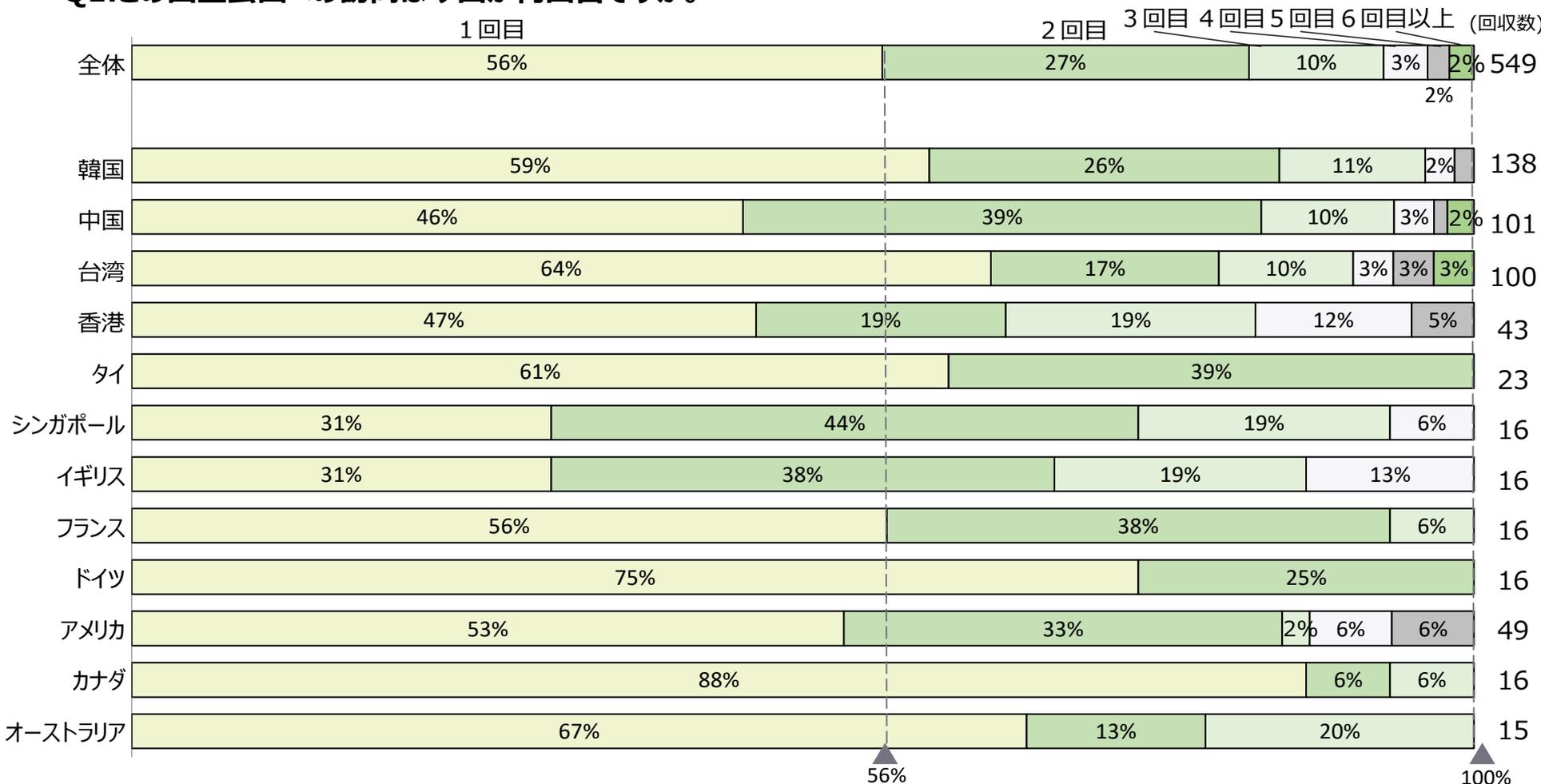
6.12 参考) 主要指標に係る回答者属性分析結果

リピーター率×国籍

中国・香港の来訪者は半数以上がリピーターであり、全体平均よりもリピーター率が高い

Q1.この国立公園への訪問は今回が何回目ですか。

1回目 2回目 3回目 4回目 5回目 6回目以上



注) シンガポールやイギリスもリピーター率が高いが、サンプル数が少ないため参考程度

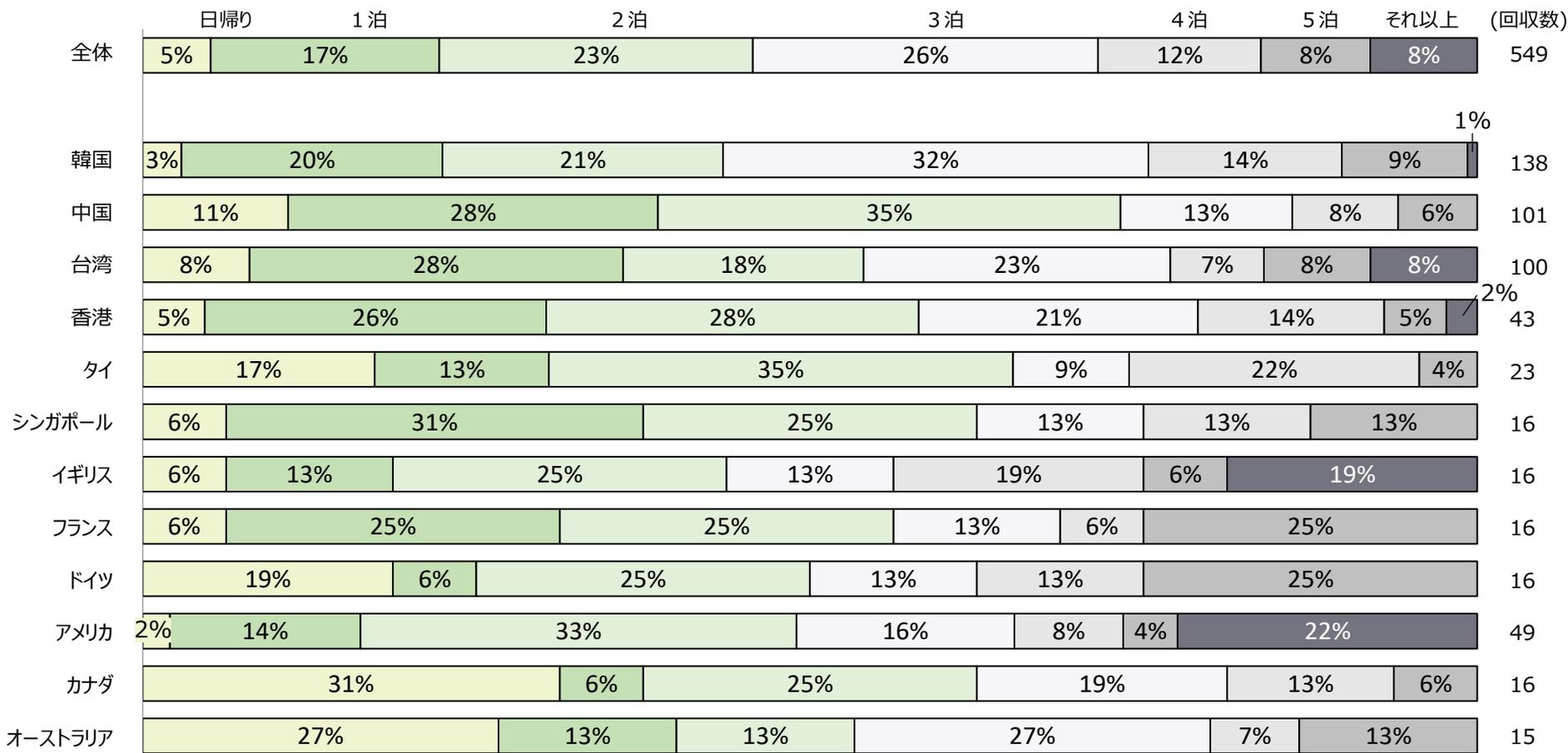
6.13 参考) 主要指標に係る回答者属性分析結果

滞在・宿泊日数×国籍

欧米圏の方がアジア圏よりも総じて滞在・宿泊日数が長い傾向にある

Q7.訪問時の滞在・宿泊日数をお答えください。

日帰り
 1泊
 2泊
 3泊
 4泊
 5泊
 それ以上

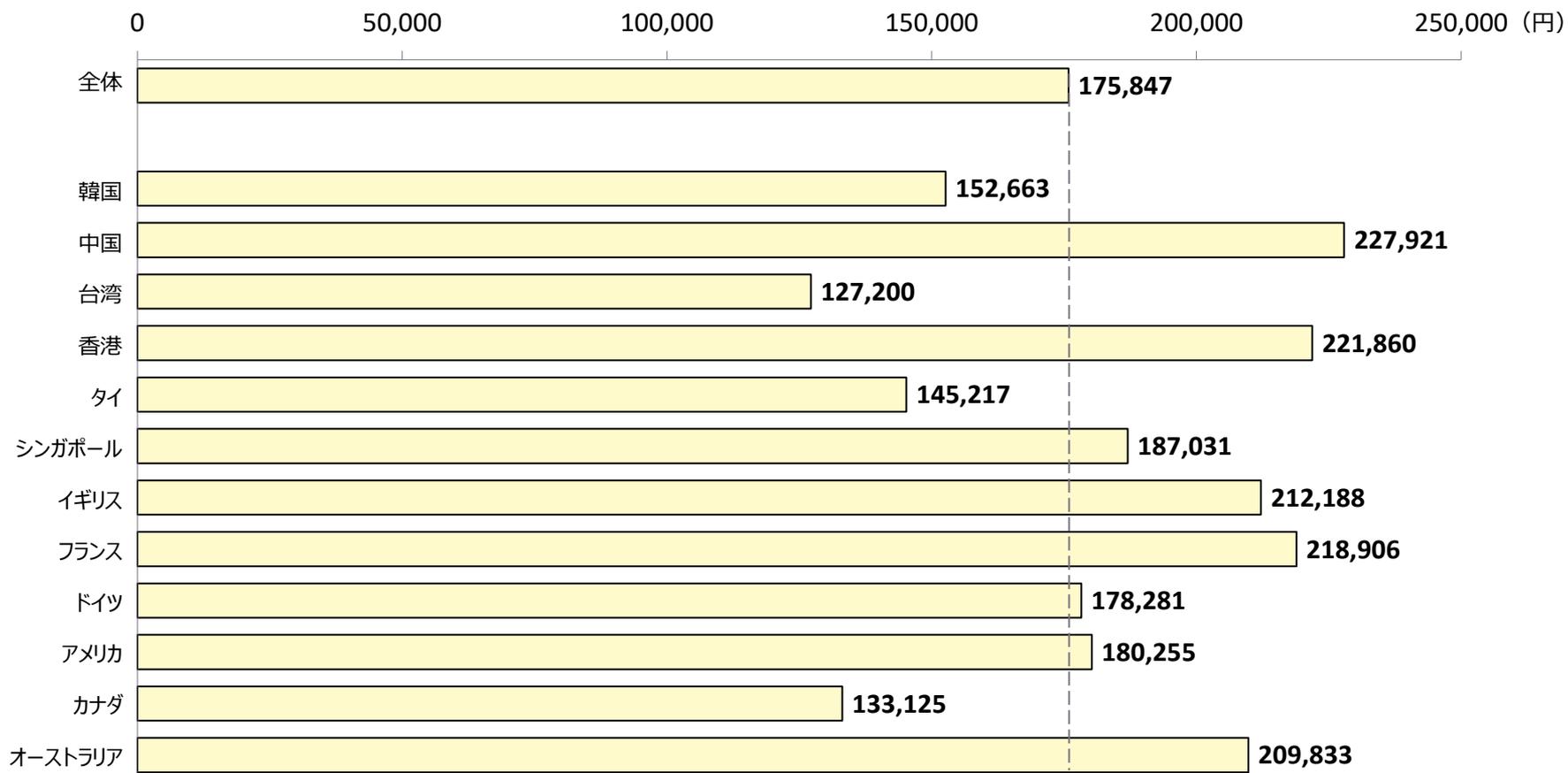


6.14 参考) 主要指標に係る回答者属性分析結果

一人当たり支出額×国籍

アジア圏において、中国・香港で支出額が高い一方、韓国や台湾・タイでは比較的低い

Q12. 国立公園内での一人当たり支出額として、最も近いものをお選びください。



注) シンガポール・イギリス・フランス・ドイツ・カナダ・オーストラリアにおいてはサンプル数が15~16と少ないため、支出額は参考程度

7. 日本人調査と訪日外国人調査の結果比較

7.1 主要指標の結果比較

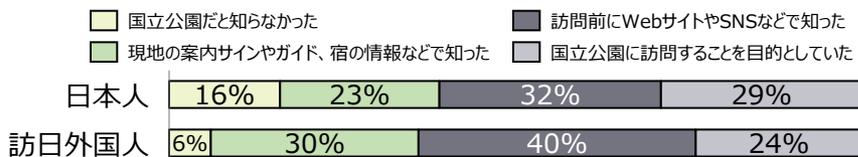
- 主要5指標について、日本人と訪日外国人それぞれの傾向の差を比較

満足度



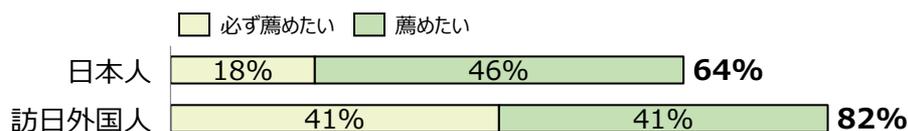
- 大変満足・満足の割合は近いが、大変満足の割合は訪日外国人の方が高い

国立公園としての認知度



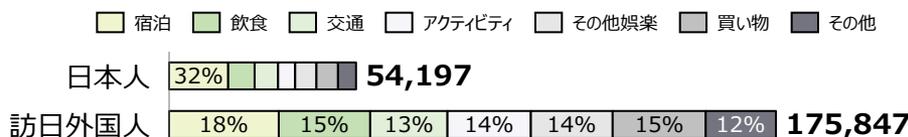
- 訪日外国人の方が国立公園としての認知度が高い傾向にある

推奨意向



- 訪日外国人の方が推奨意向が強く、必ず薦めたいの割合は日本人より23%高い

支出額



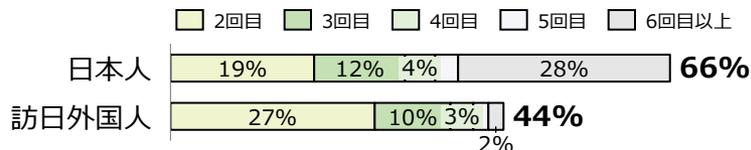
- 訪日外国人は日本人の3倍以上の支出額があり、宿泊費以外での支出割合も大きい

滞在・宿泊日数



- 訪日外国人は約80%が2泊以上しており、日本人よりも平均宿泊日数は1.2泊多い

リピーター率



- 日本人と訪日外国人の差は22%であり、日本人は6回目以上の割合も高い

7.2 各指標における上位公園の比較

- 主要5指標について、日本人と訪日外国人それぞれの傾向の差を比較

	日本人向け調査		訪日外国人向け調査	
満足度	上位の公園	大変満足・満足	上位の公園	大変満足・満足
	阿蘇くじゅう国立公園	81.9%	やんばる国立公園	89.5%
	霧島錦江湾国立公園	81.1%	支笏洞爺国立公園	82.1%
	伊勢志摩国立公園	79.4%	富士箱根伊豆国立公園	79.6%
国立公園としての認知度	上位の公園	訪問前に認知	上位の公園	訪問前に認知
	阿蘇くじゅう国立公園	71.9%	中部山岳国立公園	78.9%
	日光国立公園	67.5%	慶良間諸島国立公園	75.0%
	大山隠岐国立公園	66.9%	十和田八幡平国立公園	71.1%
推奨意向	上位の公園	必ず薦めたい・薦めたい	上位の公園	必ず薦めたい・薦めたい
	阿蘇くじゅう国立公園	73.3%	霧島錦江湾国立公園	89.7%
	慶良間諸島国立公園	70.6%	伊勢志摩国立公園	89.5%
	十和田八幡平国立公園	68.1%	十和田八幡平国立公園	86.8%
支出額	上位の公園	一人当たり支出額	上位の公園	一人当たり支出額
	慶良間諸島国立公園	¥142,201	阿蘇くじゅう国立公園	259,474
	やんばる国立公園	¥64,125	磐梯朝日国立公園	215,132
	阿寒摩周国立公園	¥58,368	霧島錦江湾国立公園	205,897
滞在・宿泊日数	上位の公園	平均宿泊日数	上位の公園	平均宿泊日数
	慶良間諸島国立公園	2.31泊	伊勢志摩国立公園	3.13泊
	やんばる国立公園	2.26泊	阿蘇くじゅう国立公園	3.13泊
	阿寒摩周国立公園	2.02泊	磐梯朝日国立公園/中部山岳国立公園	3.11泊
リピーター率	上位の公園	2回目以上	上位の公園	2回目以上
	富士箱根伊豆国立公園	80.6%	伊勢志摩国立公園	71.1%
	伊勢志摩国立公園	71.9%	大山隠岐国立公園	63.9%
	阿蘇くじゅう国立公園	70.8%	霧島錦江湾国立公園	61.5%

8. 世論調査の結果

8.1 世論調査の分析概要

- 2013年・2024年の世論調査について、特に本業務のアンケート調査内容と関連性が高い設問をピックアップして複合分析を実施

分析に活用した2013年・2024年の世論調査の設問

No	設問	平成25年	令和6年
国立公園等に対する関心について			
	国立公園，国定公園などについて、知っているものはあるか	○	○
	過去1年間に、国立公園に何回行ったか	—	○
	国立公園に行きたいと思うか	○	○
	国立公園ではどのようなことをしたいか	○	○
国立公園の情報提供について			
	国立公園に行こうとする場合、旅行前にどのようなところから情報を収集したいと思うか	○	○
国立公園の利用について			
	国立公園での観光にどのようなことが必要だと思うか	—	○
	国立公園を訪れる人が一時期に集中することによる問題に対して、どのような対策が必要だと思うか	○	○

8.2 利用者アンケートとの複合分析結果

国立公園等に対する関心について (1/2)

- 国立公園の認知度は70%後半~90%程度であり、そのうち実際に来訪した割合は30%後半~50%弱程度

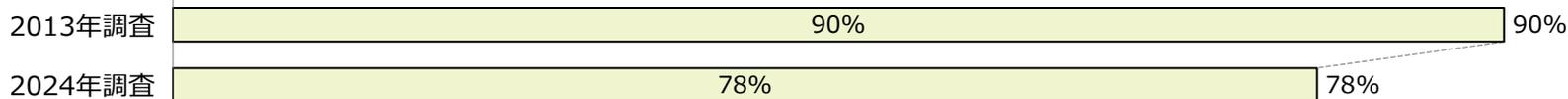
本プロジェクトにおける日本人向けアンケート調査の結果 (国立公園の認知・来訪経験)

- 国立公園を訪れたことがある
- 行ってみたい国立公園があり、訪れる計画をたてている
- 国立公園についてある程度知っており、興味を持って情報収集をしているが訪れる計画はない
- 国立公園についてある程度知っているが、興味を持って情報収集をしているわけではない
- 日本に国立公園があることは知っているが、具体的なイメージは湧かない
- 日本に国立公園があることを知らない

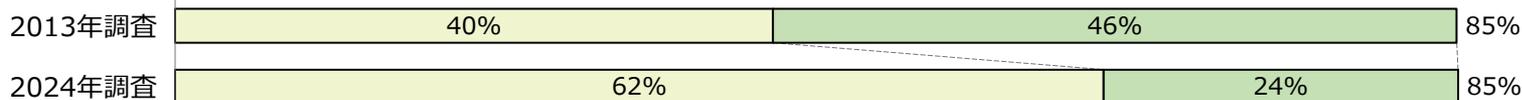


世論調査の結果 (国立公園の認知・来訪経験)

- 自然や文化に親しむ枠組みとして国立公園を知っている



- 国立公園に行きたいと思う
- どちらかといえば行きたいと思う



- 過去1年間に国立公園に何回来訪したか (※仕事での来訪を含む、国立公園地域内に住んでいる場合は除く)

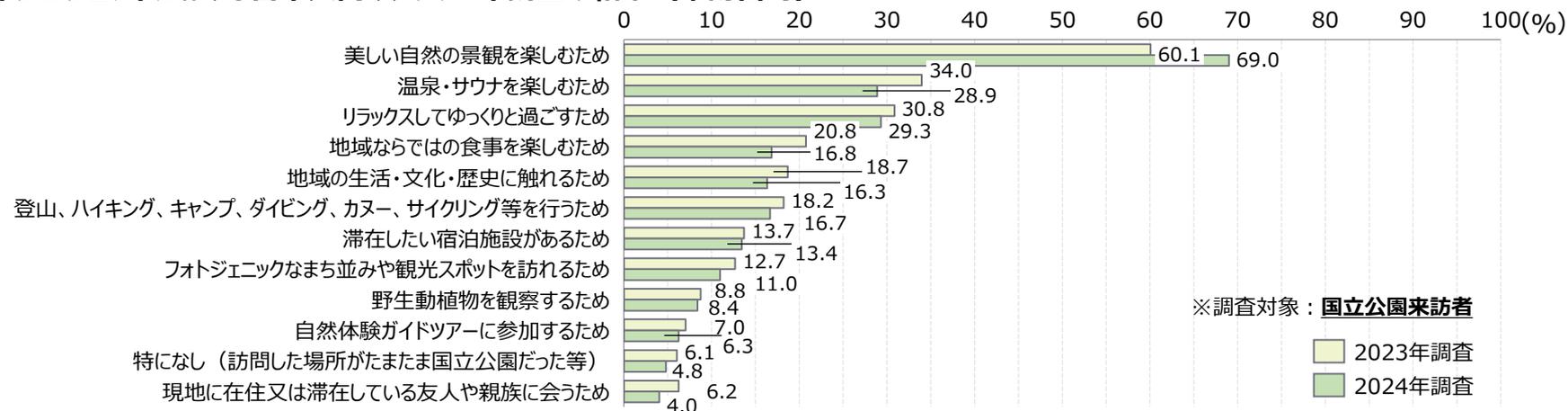


8.2 利用者アンケートとの複合分析結果

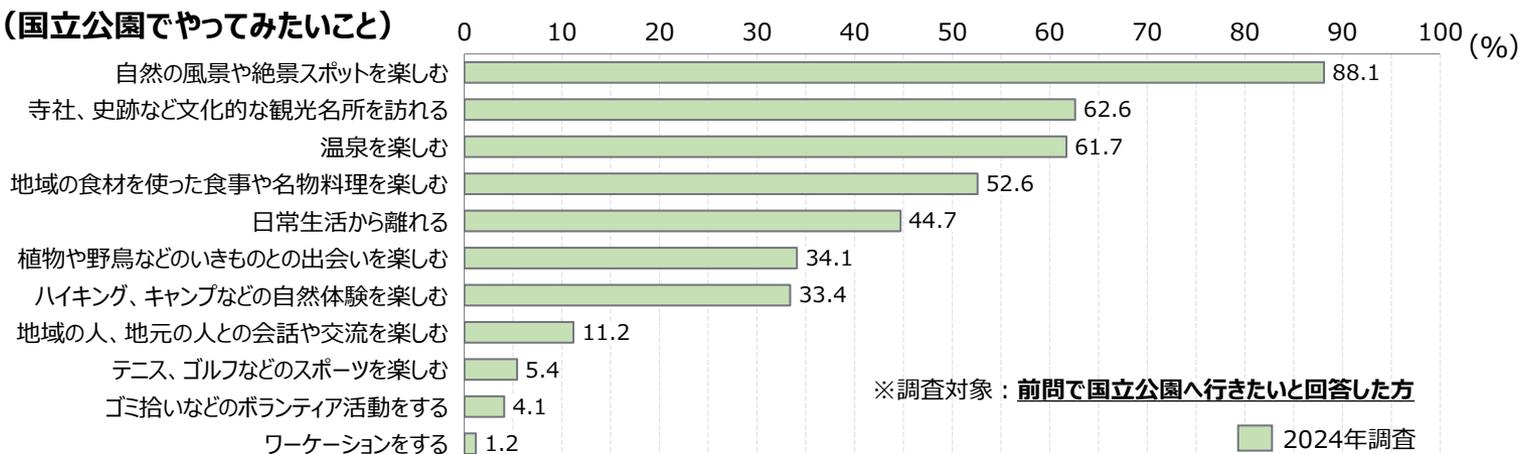
国立公園等に対する関心について (2/2)

- 自然景観や風景を楽しむことを目的とした来訪者が最も多く、世論調査においても傾向は同様

本プロジェクトにおける日本人向けアンケート調査の結果 (来訪目的)



世論調査の結果 (国立公園でやってみたいこと)

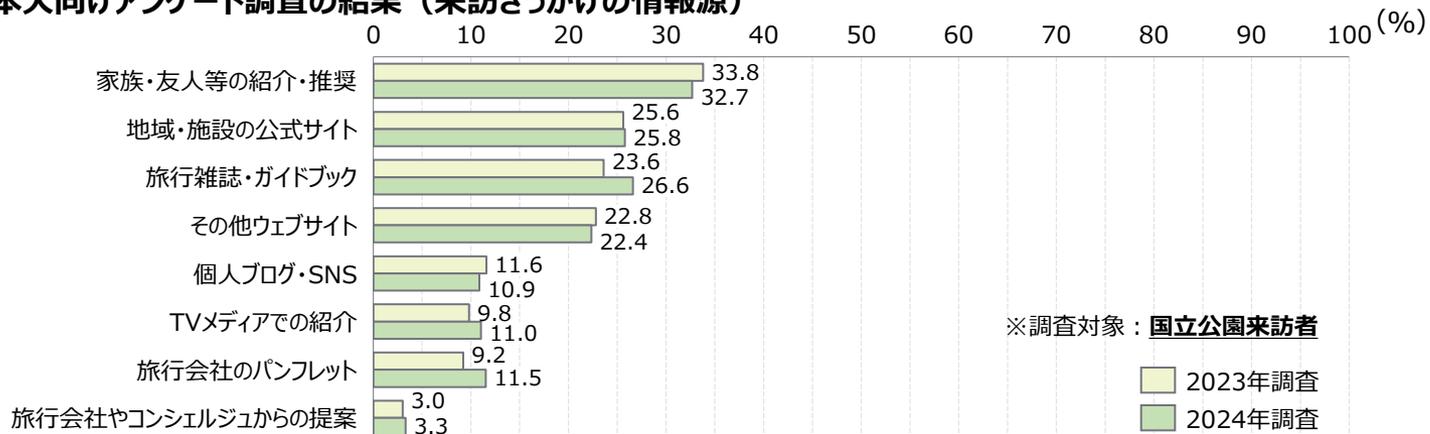


8.2 利用者アンケートとの複合分析結果

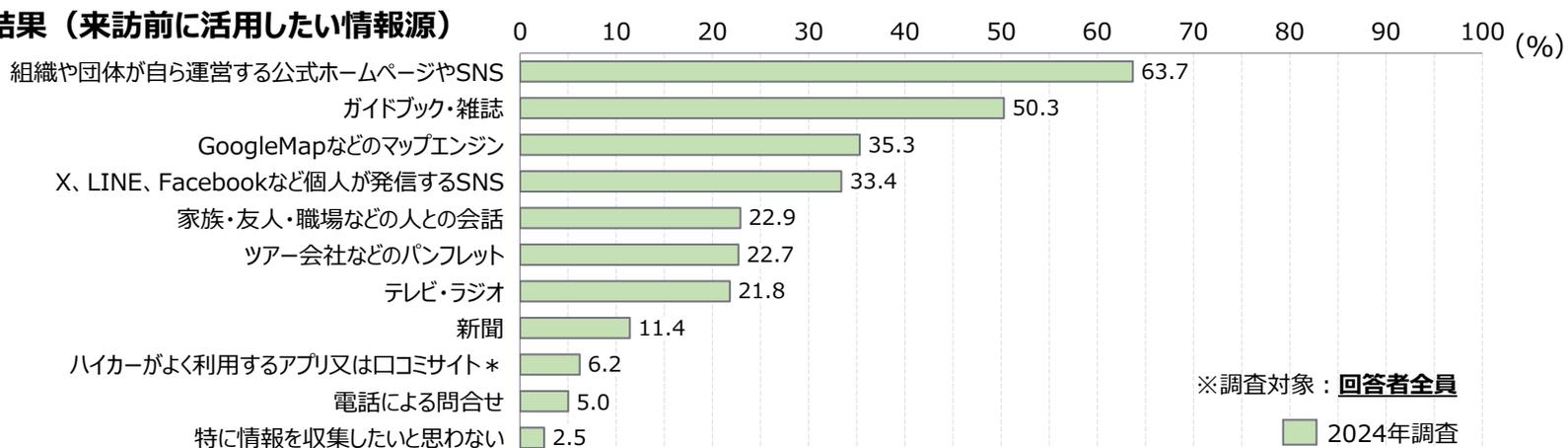
国立公園の情報提供について

- 活用したいと思う情報源はHPやガイドブック、SNS等が多いが、実際の来訪者における“来訪のきっかけ”は家族・友人等の紹介・推奨の割合が高く、近い者の紹介・推奨の影響が大きいことが示唆される

本プロジェクトにおける日本人向けアンケート調査の結果（来訪きっかけの情報源）



世論調査の結果（来訪前に活用したい情報源）



出所) 総務省「世論調査」より、整理

注) 2013年・2024年の世論調査ではそれぞれ選択肢が異なるため、経年比較は行わない

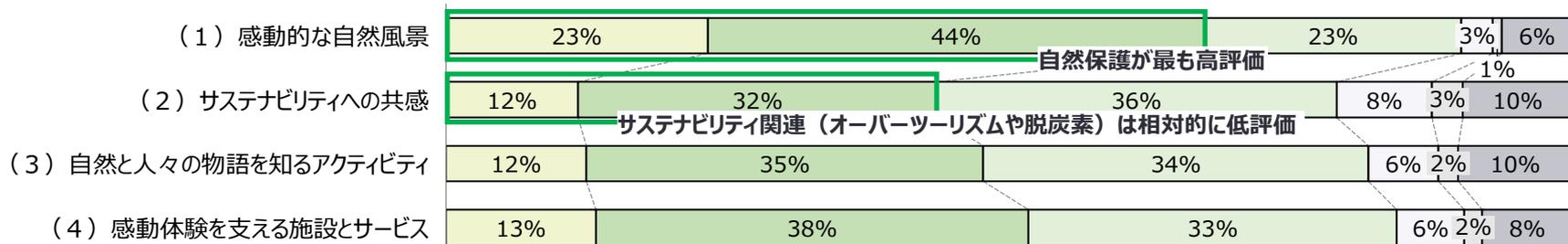
8.2 利用者アンケートとの複合分析結果

国立公園の利用について (1/2)

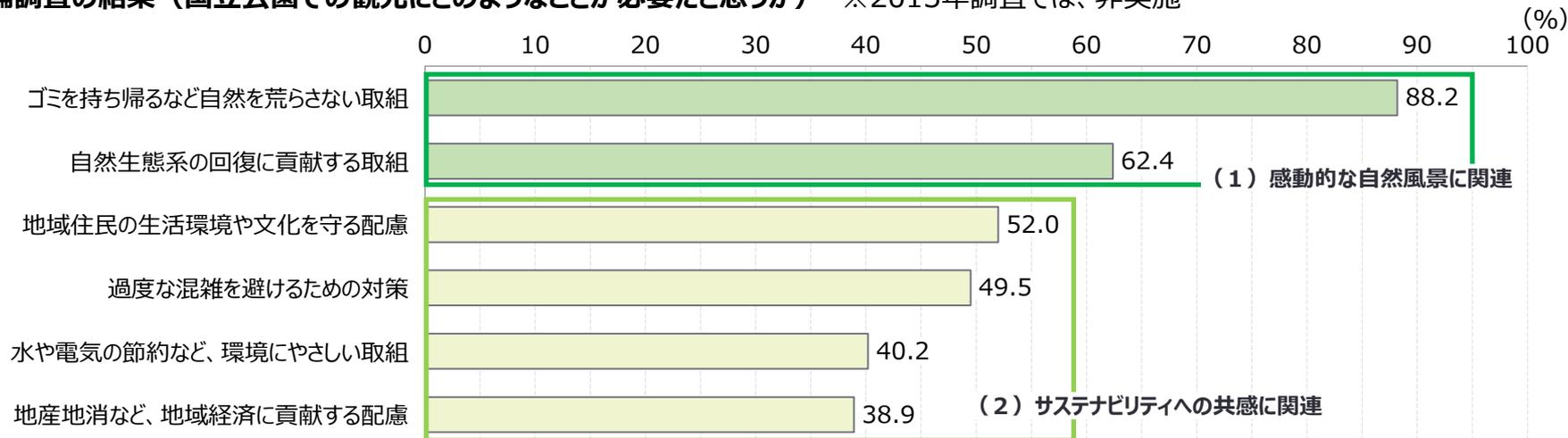
- 持続可能な観光のために、自然風景の保護が最重要視され現状評価も高い。一方、サステナビリティへの取組みも必要とされているものの、取組が十分だとは評価されていない傾向にある

本プロジェクトにおける日本人向けアンケート調査の結果 (ブランドプロミスへの評価)

■ 実行されていたと感じた
 ■ どちらかといえば実行されていたと感じた
 ■ どちらでもない
 ■ あまり実行されていたと感じなかった
 ■ 実行されていたと感じなかった
 ■ わからない



世論調査の結果 (国立公園での観光にどのようなことが必要だと思うか) ※2013年調査では、非実施



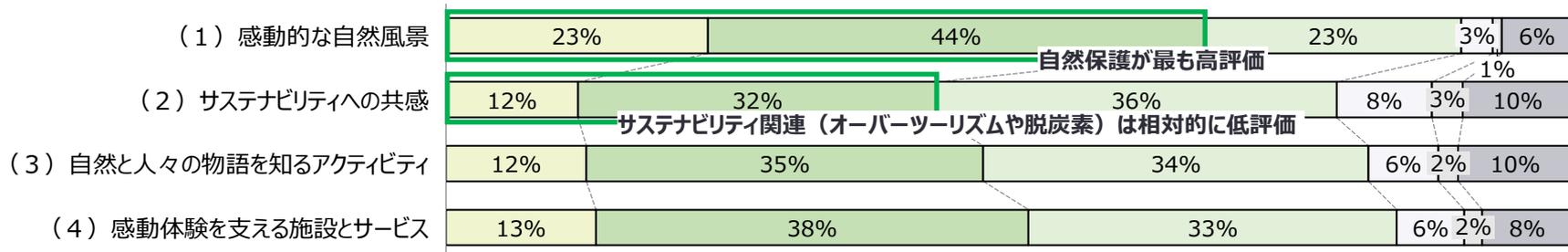
8.2 利用者アンケートとの複合分析結果

国立公園の利用について (2/2)

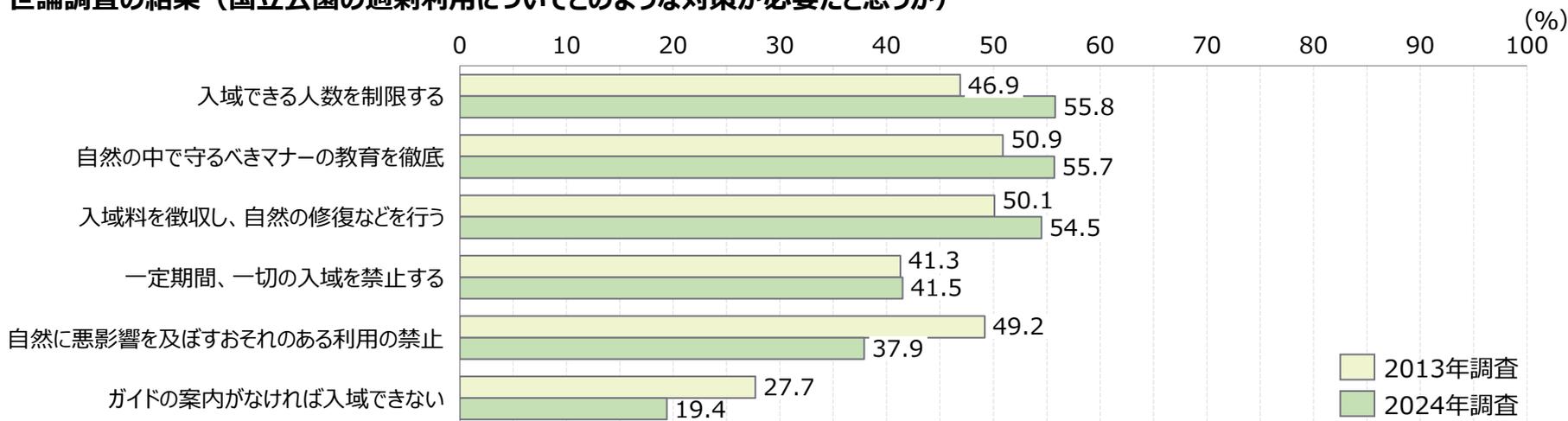
- 評価が比較的低いオーバーツーリズム対策について、人数制限やマナー教育、入域料の活用を必要だと感じる割合が高い

本プロジェクトにおける日本人向けアンケート調査の結果 (ブランドプロミスへの評価)

■ 実行されていたと感じた
 ■ どちらかといえば実行されていたと感じた
 ■ どちらでもない
 ■ あまり実行されていたと感じなかった
 ■ 実行されていたと感じなかった
 ■ わからない



世論調査の結果 (国立公園の過剰利用についてどのような対策が必要だと思うか)



9. 国立公園に関する特徴的な動向

9.1 オーバーツーリズムに関する動向

- ハワイ島ダイヤモンドで導入された**事前予約制**により、1日の登山客数は変わらずとも**利用時間帯の分散により混雑の緩和に貢献**。地元住民も利用しやすくなることで**観光客・地元住民相互にプラス**となる
- フランス・カラंक国立公園における**入域制限**は、混雑緩和による利用時の快適性向上のみならず、**自然環境の保護に対する来園者の意識向上にも貢献**している

オーバーツーリズムの対策アプローチ

観光客分散

金銭手法

規制

意識改革

受入環境強化

観光客分散

金銭手法

【アメリカ：ハワイ島ダイヤモンドヘッドの事例】

- ダイヤモンドヘッドでは2022年5月より事前予約制が導入され、入場料および駐車場についても値上げが実施された
- 導入により、1日に訪れる登山客数については変わらないものの、利用時間帯が分散されることで混雑が緩和
- また、混雑緩和により地元住民も利用しやすくなったことで、観光客と住民相互に好循環をもたらしている（ハワイ州の住民については入場料・駐車場代ともに不要）



©State of Hawaii

規制

意識改革

【フランス：カラंक国立公園の事例】

- カラंक国立公園では2022年より予約を義務化、夏季に受け入れる1日平均2,000人の観光客を400人に制限
- さらに、公園スタッフと環境警察官が予約のチェックを行い、制限を守らない者には68ユーロの罰金を科した
- これらの取組により、現地国立公園ガイドからも快適さの声があがるとともに、自然保護に対する来園者の意識向上についても貢献している



©Calanques National Park

9.1 オーバーツーリズムに関する動向

- 2024年において海外国立公園では、**直接的（予約の義務化等）および間接的（利用料金の値上げ等）アプローチで入域制限を課す動き**が多く見られた
- 自然環境の保護のみならず、地域住民の暮らしへの配慮の観点からもこうした動きは広がることが予想される

海外国立公園の入域制限に関連する2024年の動向

イタリア：チンクエッテ国立公園

- ビーチ保護の観点から、**レンタルカヌーの利用数上限を1施設につき5艇**と定める
- また、2023年から予約制となっているVia dell'Amore（愛の道）への**アクセス料金を引き上げ**、ハイシーズンは**一方通行**とした



©Global Alliance of National Parks

イタリア：ラ・マッダレーナ国立公園

- 7つの主要な島と花崗岩でできたいくつかの小島で構成されるラ・マッダレーナ国立公園は、**公園エリア内での宿泊を禁止**することを発表
- 舟での**夜間停泊**においても**停泊場所を制限**し、**汚水回収タンクの装備**を条件としている



©Parco La Maddalena

ニュージーランド（検討中）

- 政府は**国立公園の入場料の値上げ**を検討中
- ニュージーランド人の料金優遇や、**海外旅行者のみに料金を課す**ことも含めて検討



©New Zealand Government

2024年

4月



©National Park Service

アメリカ：ヨセミテ国立公園

- 夏季および特定月の週末において、**訪問者に対する事前予約を義務**付ける
- コロナ禍の2020年に予約制度が試験的に導入されていたが、2023年の停止以降、**渋滞**や訪問者の**不満**が発生したことから2024年に再開した

5月



©Banff & Lake Louise Tourism

カナダ：バンフ国立公園

- レイクルーズ湖畔駐車場の**駐車料金をほぼ2倍に引き上げ**
- 2023年夏の**渋滞**による通行止め等の影響を受け、**自家用車の使用を抑制**し、訪問者にシャトルバスの利用を促す狙いがある

8月



©Brecon Beacons National Park Authority

ウェールズ：ブレコンビーcons国立公園

- SNSで人気となり、滝付近で水着姿で写真撮影を行う観光客が増加
- 公園当局はインフルエンサーに対して**週末の訪問を控えるよう警告**を發表し、早朝や9月10月の来訪を呼びかける

現在

9.2 利用者負担に関する動向

- 令和6年度における世論調査では、**回答者の約84%が国立公園施設整備・維持管理費用を負担することに理解を示す一方、回答者の約85%が入域料として払える額を1,000円以下と回答**
- 他方、ネパールの国立公園における外国人観光客の調査結果では、回答者の約85%は**3,150円*以上の入園料を支払う意思があり、国内旅行者に比べて環境負担の許容度が大きい可能性**がある

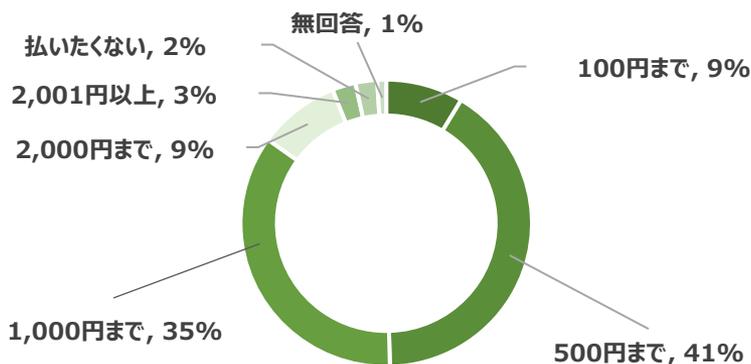
*1ドル=150円で換算

国立公園の入域料に関する国内外の動向

国内旅行者

- 令和6年度に実施した世論調査にて、施設の維持管理を目的とした国立公園の入域料として払える額を調査
- 全回答者の約85%が1,000円以下と回答

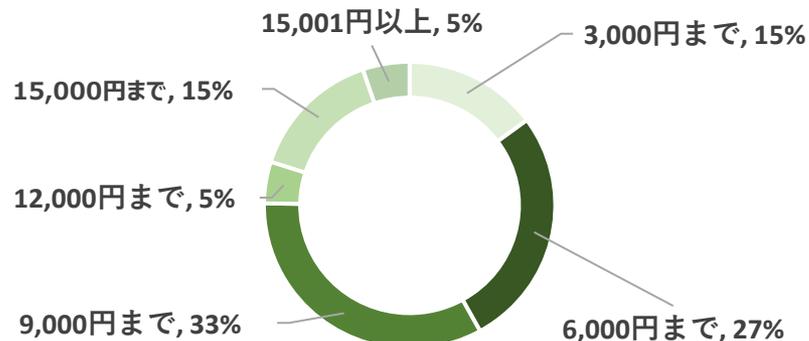
国立公園の入域料として払える額



外国人旅行者

- ネパールのランタン国立公園では、外国人観光客の環境意識と入園料の支払意識を調査
- 回答者の約85%は3,150円以上を支払う意思があるなど、環境保護に対する関心が高かった

ランタン国立公園の入域料として払える額

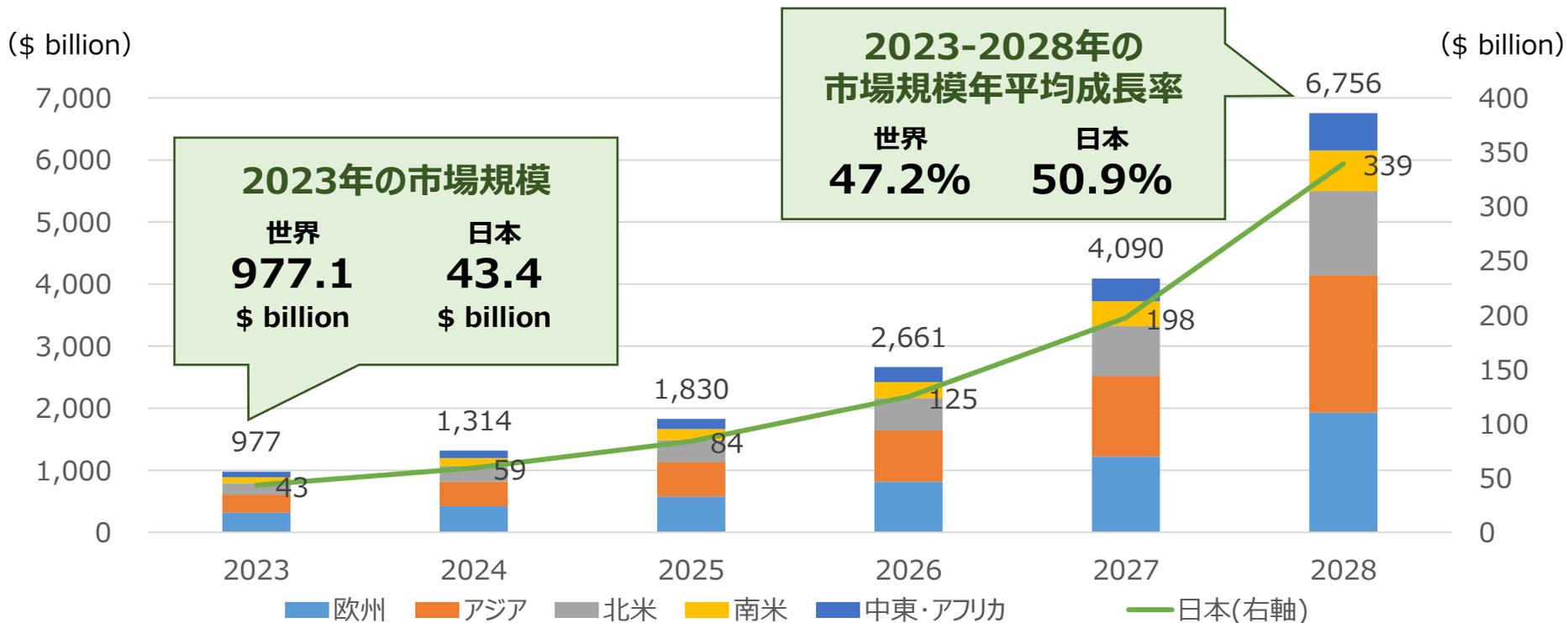


*1ドル=150円で換算

9.3 最近のツーリズムの動向

- **世界のアドベンチャーツーリズム市場規模は、今後2028年までに右肩上がりで見込まれる**
- 日本においてもアドベンチャーツーリズムの上昇トレンドは同様であり、**2028年の市場規模は約51兆円*と2023年の約7.8倍**になる見込み
- 2023年におけるマーケットシェアNo.1は欧州だが、**2026年にはアジアが世界最大シェア**となる見込み *1ドル=150円で換算

アドベンチャーツーリズム市場規模予測



9.4 サステナブルツーリズムに関する動向

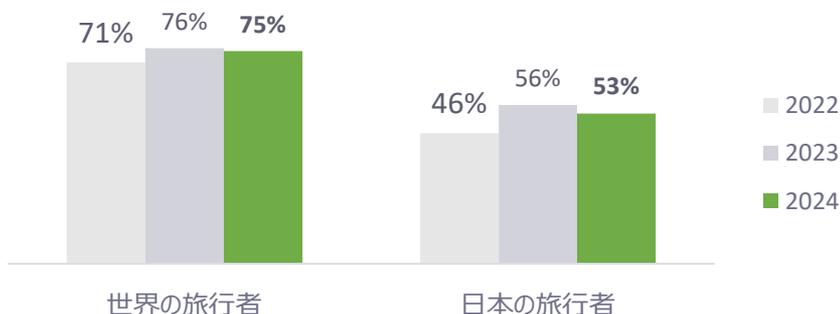
- 「今後12ヶ月間に、よりサステナブルな旅行をしたい」と回答した旅行者の割合は、世界で75%、日本で53%であり、**サステナブルツーリズムへの消費者の関心は引き続き高い**と言える
- 世界の旅行者で「すべての旅行予約サイトが共通のサステナブル認証やラベルを使用すること」に賛成する割合は67%であり、**わかりやすい認証制度が求められていることが示唆される**

サステナブルツーリズムに関する意識調査結果

世界・日本の旅行者のサステナブルツーリズムへの関心

- 世界の旅行者で「今後12か月間に、よりサステナブルな旅行をしたい」と回答した割合は75%で、**サステナブルツーリズムへの関心は高い**
- 日本の旅行者は53%と、世界と比較すると低水準であるものの、2022年（46%）と比較すると向上しており、**サステナブルツーリズムへの関心の高まりを示唆している**

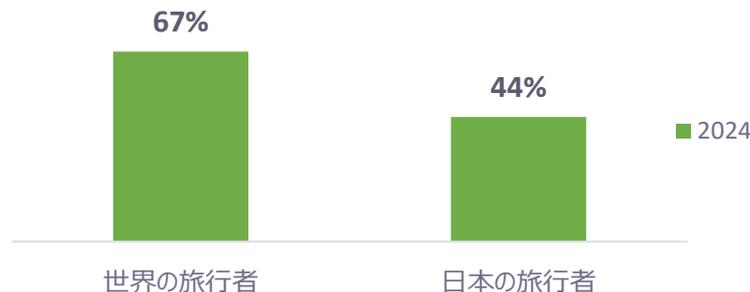
「今後12か月間に、よりサステナブルな旅行をしたい」と回答した割合（2022-2024年）



世界・日本の旅行者のサステナブル認証・ラベルへの意識

- 世界の旅行者で「すべての旅行予約サイトが共通のサステナブル認証やラベルを使用すること」に賛成する割合は67%（日本は44%）
- 特にインバウンドに対しては**認証制度のわかりやすさが求められることが示唆される**

「すべての旅行予約サイトが共通のサステナブル認証やラベルを使用すること」に賛成する割合（2024年）

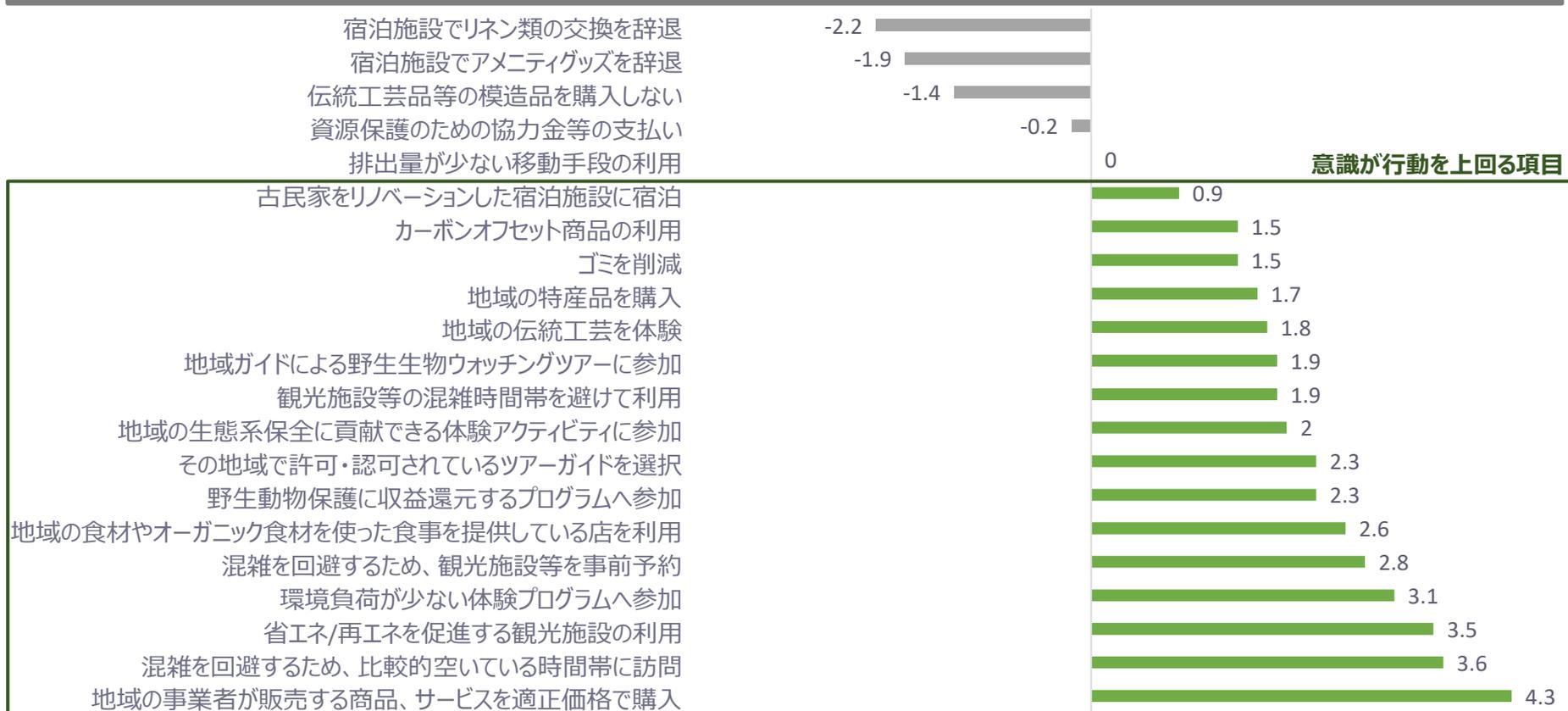


注：調査対象者は日本を含む34の国・地域における31,000名以上の旅行者

9.4 サステナブルツーリズムに関する動向

- 低環境負荷の体験プログラムへの参加、省エネ/再エネを促進する観光施設の利用等、複数の取組で**実施意向が実際の行動を上回る**
- 旅行者が実施したい**サステナブルな取組を実現するための商品・サービスの提供や環境整備が十分ではない**可能性が示唆されることから、旅行者がサステナブルな取組を実施するには、**供給側の制度設計が必要**であると考えられる

海外旅行先で「今後実施したい」サステナブルな取り組みと「過去に実施した」サステナブルな取り組みの差分



注：アジア・欧州豪12カ国の海外旅行経験者7,796名（うち43%は訪日経験あり）に対するアンケート調査結果